

ホーム /
CSRへの取り組み

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境への取り組み](#)
- [ステークホルダーとの
かかわり](#)

過去のアーカイブ

- [CSRレポート2008
\(PDFファイル\)](#)

ルネサス CSRへの取り組み2009

RENESAS CSR REPORT 2009
2009年10月1日更新

<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">▶ イントロダクション</p> <p>CSRに取り組むルネサス、その全体像を把握することができます。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">▶ 法令遵守を超えて</p> <p>法令や国際ルールへの遵守はもちろん、高い企業倫理の下での経営を目指します。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">▶ 環境への取り組み</p> <p>地球環境を考えた製品づくりから、社員ひとり一人の環境保全への取り組みまでお伝えします。</p> </div>	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">▶ ルネサスのCSR</p> <p>CSRに対するルネサスの基本的姿勢と考え方をご理解いただけます。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">▶ 個人の尊重に向けて</p> <p>社員の安全、健康を考えるとともに、働きやすい職場づくりを考えます。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">▶ ステークホルダーとのかかわり</p> <p>地域社会、顧客、取引先など、ルネサスは様々なステークホルダーに支えられ活動しています。</p> </div>
---	--

編集方針 掲載対象範囲



イントロダクション

- トップメッセージ
- 会社概要
- 事業状況

- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
- 環境への取り組み
- ステークホルダーとの
かかわり

イントロダクション

RENESAS CSR REPORT 2009

CSRに取り組むルネサス、その全体像を把握することができます。

トップメッセージ

「半導体制御テクノロジー」を通じてエネルギー効率のよい持続可能な社会の実現を目指します。

会社概要

ルネサス テクノロジーの会社概要です。

事業状況

近年の売上高、利益等の推移とルネサスグループの構成をご紹介します。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション

トップメッセージ

会社概要

事業状況

ルネサスのCSR

法令遵守を超えて

個人の尊重に向けて

環境への取り組み

ステークホルダーとの
かかわり**イントロダクション****トップメッセージ**

**「半導体制御テクノロジー」を通じて
エネルギー効率のよい持続可能な社会の
実現を目指します。**

株式会社ルネサス テクノロジ
会長 塚本 克博

社会全体のエネルギー効率向上を目指して

ルネサス テクノロジが設立されて7年目に入りました。設立からこれまでは「CSR憲章」を制定して理念の構築を行うとともに、社員行動基準となる「企業倫理プログラム」を定め、CSR活動に取り組んでまいりました。そして今、これまでのCSR活動を自ら省みて評価し、その評価を更に高めていく段階に入ったと考えています。そのためには「半導体サプライヤー」である当社の社会的責任、CSRを行っていく上での課題をしっかりと把握することが重要です。今後とも企業理念である「安心・快適・夢」の追求を念頭に置き、当社の強みである「半導体制御テクノロジー」を核に半導体製造という本業を通して、「社会全体のエネルギー効率向上」という当社ならではの課題に真摯に取り組んでまいります。

環境対策はCSRの柱

変化の激しい半導体市場の中で、確実に成長を遂げている分野があります。それは燃費の良いハイブリッド車、あるいは液晶テレビ、インバータ・エアコンに代表される電気代が抑えられ、家計と環境にやさしい製品です。このような環境配慮製品は、まさに「半導体制御テクノロジー」によるエネルギー効率追求の成果だといえます。しかしエネルギー効率の良い社会は、決して半導体製品のみで実現できるものではありません。当社のお客様である製品メーカーの皆様へ信頼され、消費者の皆様が利用される最終製品に搭載されてこそ、効率化の成果が生まれるのだと深く認識しています。

一方で、半導体製品自体の環境負荷についてもさまざまな取り組みを進めています。半導体は、その製造する過程において、多量の電力・水・薬品等を使用しています。ルネサスでは製造過程における環境の負荷を低減するために、省エネ・省資源・適正な化学物質の管理を日々行っています。同時に新製品の開発時には、開発・設計段階で環境アセスメントを導入し、市場に対して環境に配慮した製品を提供しています。

このように、当社の本業を通じたCSRとして「半導体制御テクノロジー」によるエネルギー効率の向上及び半導体製造過程における環境負荷の低減をより追求するため、ルネサスは「環境対策はCSRの柱」と位置づけています。

次代を担う技術者を育てる

ルネサスは、CSRと環境活動の基本である「持続可能な社会の実現」に向け、次世代の育成も重要なテーマのひとつと位置づけており、半導体を通して産学連携の教育支援を行っています。その代表的な取り組みとして、北海道および全国工業高等学校長協会が主催する「マイコンカーラリー」への協賛があります。高校生たちが手作りの「マイコンカー」でタイムを競うこの大会で、ルネサスは参加する国内外の高校・大学へのマイコンボードの提供や、マイコンカー講習会の開講、大会の運営支援などを行っています。若者の理科離れが社会的な課題となっている中、回を重ねるごとに参加者を増やし、次代を担う高校生達に最先端の半導体技術に触れる貴重な機会を提供しています。

ステークホルダーの皆様とともに

ルネサスが持続可能な企業として、社会から選ばれ続ける企業であるためには、ステークホルダーの皆様との共生が欠かせません。当社の半導体製品をご購入いただくお客様はもちろん、お取引先、当社の従業員とその家族、地域にお住まいの方々など、あらゆるステークホルダーの皆様のご意見に真摯に耳を傾け、双方向のコミュニケーションを通じて、皆様の信頼を一層高めていく所存です。

このCSRへの取り組みのご報告を通じて、より多くの方からご指摘やご意見をいただき、今後の活動に結び付けていきたいと考えています。皆様には、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

塚本克博

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ **INTRODUCTION**

トップメッセージ

会社概要

事業状況

■ **RENESASのCSR**

■ **法令遵守を超えて**

■ **個人の尊重に向けて**

■ **環境への取り組み**

■ **ステークホルダーとの
かわり**

会社概要

INTRODUCTION

- **会社名** 株式会社ルネサス テクノロジ(英文名称:Renesas Technology Corp.)
- **本社所在地** 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル)
- **資本金** 1,045億円(株式会社日立製作所55% 三菱電機株式会社45%)<2009年9月末現在>
- **設立日** 2003年4月1日
- **事業内容** マイコン・ロジック・アナログ等のシステムLSI、ディスクリート半導体、SRAM等のメモリ製品の開発、設計、製造、販売、サービスの提供
- **売上高** 7,027億円 <2008年度(連結)>
- **従業員数** 約25,000名 <2009年3月現在(連結)>
- **代表者** 取締役会長 塚本克博、取締役社長 赤尾泰
- **グループ会社** 国内19社、海外20社<2009年4月1日現在>

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ **INTRODUCTION**

トップメッセージ

会社概要

事業状況

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

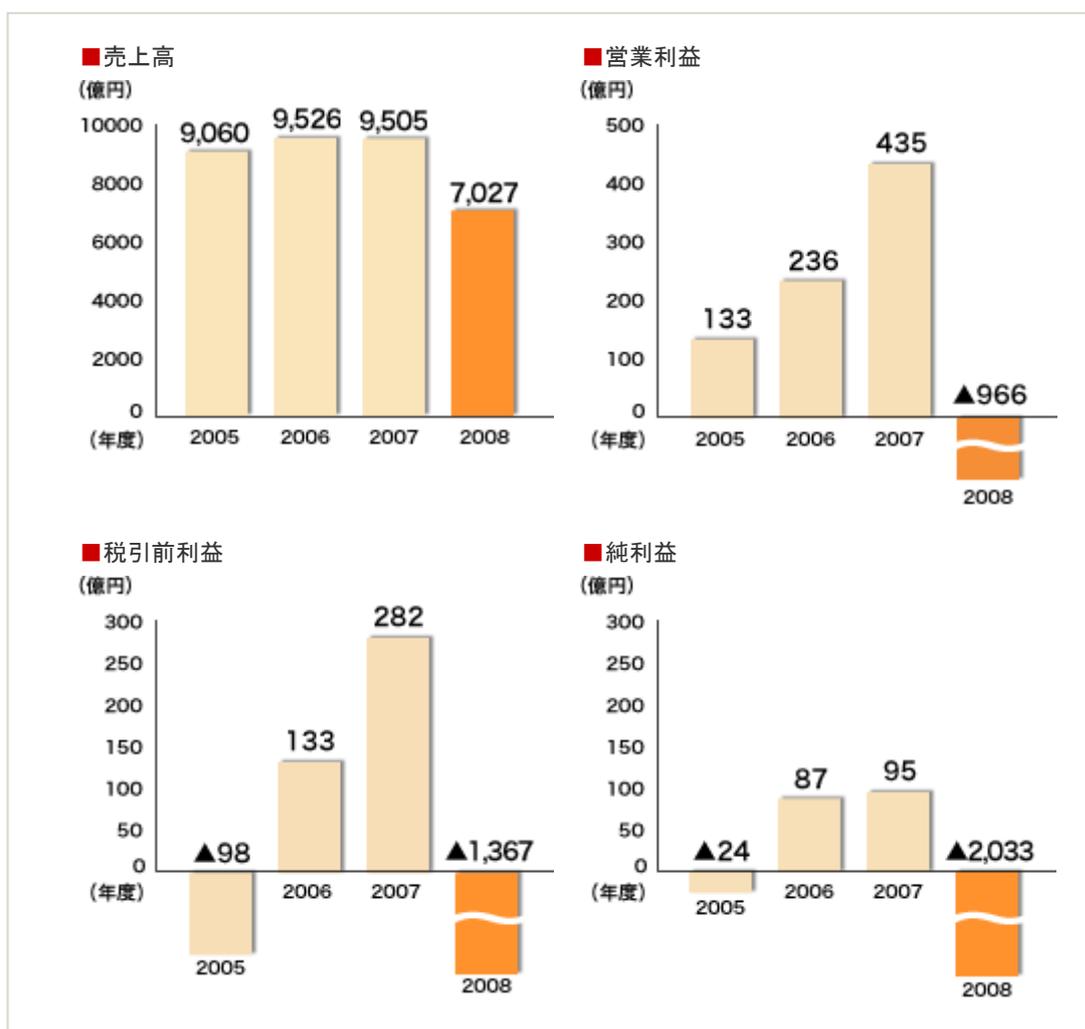
■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとの
かかわり

事業状況

INTRODUCTION

来るべきユビキタス社会を見据え、マイコン、システムソリューション、汎用半導体の3事業を柱に、高性能な製品とサービスを提供しています。



ルネサスグループについて

ルネサスグループは、株式会社ルネサス テクノロジを本体とし、「販売」、「設計・応用技術」、「製造」、「事業」、「エンジニアリングサービス」、「情報システムサービス」という6つのカテゴリーのグループ会社で構成されています。

■ 国内ネットワーク

● 株式会社ルネサス テクノロジ

(販売会社)

● 株式会社ルネサス販売

● 株式会社ルネサスイーストン

(設計・応用技術会社)

● 株式会社ルネサスソリューションズ

●株式会社ルネサスデザイン

(製造会社)

- 株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ
- 北海電子株式会社
- 羽黒電子株式会社
- 株式会社ルネサス東日本セミコンダクタ
- 株式会社ルネサスハイコンポーネンツ
- 株式会社ルネサスハイクオリティーズ
- 株式会社ルネサス柳井セミコンダクタ
- 株式会社ルネサス那珂セミコンダクタ
- 株式会社ルネサス九州セミコンダクタ

(事業会社)

- 株式会社ルネサスエスピードライブ

(エンジニアリングサービス)

- 株式会社ルネサスセミコンダクタエンジニアリング
- 株式会社ルネサス高崎セミコン
- 株式会社ルネサス小平セミコン
- 株式会社ルネサスクオリティエンジニアリング

(情報システムサービス)

- 株式会社ルナセンティス情報サービス

■海外ネットワーク

Sales Offices

- Canada -
Renesas Technology Canada Limited
- China -
Renesas Technology (Shanghai) Co., Ltd.
Renesas Technology Hong Kong Ltd.
Renesas Technology Taiwan Co., Ltd.
- Europe -
Renesas Technology Europe Limited
Renesas Technology Europe GmbH
- Malaysia -
Renesas Technology Malaysia Sdn. Bhd.
- Singapore -
Renesas Technology Singapore Pte. Ltd.
- U.S.A. -
Renesas Technology America, Inc.

Design and Application Technologies Companies

- China -
Renesas Semiconductor Design (Beijing) Co., Ltd.
- France -
Renesas Design France S.A.S
- Malaysia -
Renesas Semiconductor Design (Malaysia) Sdn.Bhd.
- Vietnam -
Renesas Design VietNam Co., Ltd.
- Korea -
Renesas System Solutions Korea Co., Ltd.

Manufacturing Companies

- China -
Renesas Semiconductor (Beijing) Co., Ltd.
Renesas Semiconductor (Suzhou) Co., Ltd.
- Malaysia -
Renesas Semiconductor (Malaysia) Sdn. Bhd.
Renesas Semiconductor Technology (Malaysia) Sdn. Bhd.
Renesas Semiconductor (Kedah) Sdn. Bhd.

Business Corporation

- China -

Renesas SP Drivers Taiwan Inc.

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ [イントロダクション](#)■ [ルネサスのCSR](#) →[ルネサス企業理念](#)[CSR憲章](#)[企業倫理プログラム](#)[CSRビジョン](#)[コーポレートガバナンス](#)[CSR推進体制](#)[リスクマネジメント](#)[情報セキュリティ対策](#)[品質保証への取り組み](#)■ [法令遵守を超えて](#)■ [個人の尊重に向けて](#)■ [環境への取り組み](#)■ [ステークホルダーとの](#)[かかわり](#)

ルネサスのCSR

RENESAS CSR REPORT 2009

CSRに対するルネサスの基本的姿勢と考え方をご理解いただけます。

ルネサス企業理念

社会全体の中でルネサスグループが果たす役割を認識し、明文化しました。

CSR憲章

ルネサスグループのCSRのあり方を、それぞれのテーマごとに明確にしています。

企業倫理プログラム

ルネサスグループ各社の社員が、高い倫理観に則り、行動するための指針として設定しました。

CSRビジョン

「CSR憲章」および「企業倫理プログラム」の位置づけを図示しています。

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス(企業統治)の強化・運営を目指すルネサスの姿をご紹介します。

CSR推進体制

社員ひとり一人がCSR活動をより効果的に進めるための委員会、事務局など。その組織について。

リスクマネジメント

ルネサスグループの内外における事業活動を妨げる要因となるリスクの未然防止と、緊急時の適切な対応について。

情報セキュリティ対策

ルネサスグループでは、情報漏洩事故の防止のために情報管理体制の強化に努めています。

品質保証への取り組み

お客様に安心して使っていただける品質を実現するための、ルネサスグループの取り組みの状況をご覧ください。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
 - [ルネサス企業理念](#) →
 - [CSR憲章](#)
 - [企業倫理プログラム](#)
 - [CSRビジョン](#)
 - [コーポレートガバナンス](#)
 - [CSR推進体制](#)
 - [リスクマネジメント](#)
 - [情報セキュリティ対策](#)
 - [品質保証への取り組み](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境への取り組み](#)
- [ステークホルダーとの
かかわり](#)

ルネサス企業理念

ルネサスのCSR

■ 企業理念 ■

ルネサス テクノロジは、
世界中の人々の生活のいたるところで存在することで、
安心・快適・夢を支え続けます。

■ 企業ビジョン ■

【1. ユビキタスネットワーク社会の実現へ】

私たちは、絶え間ない技術革新により、
世界中のお客様にインテリジェントチップソリューションを
提供していきます。

【2. マイクロコンピュータのリーダーとして】

私たちは、幅広いアプリケーションに対応する、
特長のあるマイクロコンピュータを提供し続けます。

【3. 信頼される企業として】

私たちは、信頼される経営を行い、成長し続けます。

■ [イントロダクション](#)**■** [ルネサスのCSR](#)[ルネサス企業理念](#)[CSR憲章](#) **→**[企業倫理プログラム](#)[CSRビジョン](#)[コーポレートガバナンス](#)[CSR推進体制](#)[リスクマネジメント](#)[情報セキュリティ対策](#)[品質保証への取り組み](#)**■** [法令遵守を超えて](#)**■** [個人の尊重に向けて](#)**■** [環境への取り組み](#)**■** [ステークホルダーとの
かかわり](#)

CSR憲章

[ルネサスのCSR](#)

■ CSR憲章 ■

ルネサス テクノロジ、グループ会社およびその社員は、私たちの「企業倫理プログラム」を着実に実行するとともに、お客様やお取引先をはじめとするパートナーや株主、地域社会などのステークホルダーとの共生から生まれる知恵や機会を事業の源泉とし、優れた半導体製品と誠意あるサービスの提供を通じて、安心・快適・夢の実現に貢献し、社会の循環的かつ持続的な発展へ寄与していきます。

【法令遵守を超えて】

私たちは、各国の法令や国際ルールを遵守するとともに、社会の一員として高い倫理観と公正で秩序ある競争理念の下で行動することに加え、その活動をパートナーとともに展開することに努めます。

【個人の尊重に向けて】

私たちは、個人の能力を尊重するとともに、やりがいのある安全で働きやすい職場の構築と確保に努めることに加え、各自が持てる能力を最大限に発揮できるように支援します。

【環境への優しさを目指して】

私たちは、環境の保全、向上および蘇生を地球市民の責任と受け止め、自らが積極的に環境活動に参加するとともに、環境に配慮した半導体製品の開発・製造・販売を促進します。

【暮らしやすい社会のために】

私たちは、地域の文化や習慣を尊重するとともに、社会に貢献するための活動に積極的に参画し、自ら活動します。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)[上へ](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR**

ルネサス企業理念

CSR憲章

企業倫理プログラム →

CSRビジョン

コーポレートガバナンス

CSR推進体制

リスクマネジメント

情報セキュリティ対策

品質保証への取り組み

法令遵守を超えて**個人の尊重に向けて****環境への取り組み****ステークホルダーとの
かかわり**

ルネサスのCSR

企業倫理プログラム

■ 企業倫理プログラム ■

ルネサス テクノロジ、グループ各社およびその社員は、各国の法令を遵守するとともに、高い倫理観に則り、常に以下の視点に立って行動します。なお、トップおよび幹部社員は、このプログラムに基づき自ら率先実行し、職場規律の適正な維持管理と活力ある職場作りに努め、所属社員の士気高揚を図ります。

【公正な競争および取引】

1. 私たちは、公正で秩序ある競争理念を行動の基本とし、公正な企業取引を実践します。

【企業の透明性】

2. 私たちは、法令、条例に則り、企業情報等の会社の状況を適時かつ公正に開示します。

【環境への取り組み】

3. 私たちは、全ての事業活動および社員行動において、環境関連法令を遵守します。

【人権尊重】

4. 私たちは、人種、国籍、宗教、性別等いかなる差別も行わず、またセクシャルハラスメント等の人権侵害行為をせずに個人の権利を尊重します。

【反社会的取引防止】

5. 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切取引を行いません。

【情報管理】

6. 私たちは、他社の所有する経営および技術情報の価値を十分に尊重するとともに、当社の有する経営および技術情報の価値を十分に認識し、その厳正な管理体制の確立と管理の徹底に努めます。

【輸出管理】

7. 私たちは、我が国のみならず世界各国の輸出に関する貿易関連法令を遵守します。

【企業人としての自覚】

8. 私たちは、自らの扱う財産、時間、情報等に対し、公私を厳しく峻別し行動します。

- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
 - [ルネサス企業理念](#)
 - [CSR憲章](#)
 - [企業倫理プログラム](#)
 - [CSRビジョン](#)**
 - [コーポレートガバナンス](#)
 - [CSR推進体制](#)
 - [リスクマネジメント](#)
 - [情報セキュリティ対策](#)
 - [品質保証への取り組み](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境への取り組み](#)
- [ステークホルダーとのかわり](#)

ルネサスのCSR

CSRビジョン

「CSR憲章」と「企業倫理プログラム」の位置づけ



企業理念の礎として、ルネサスのあるべき姿を示したものが「企業ビジョン」であり、本ビジョンの実現に向けた活動方針・行動方針として「CSR憲章」「企業倫理プログラム」を制定しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

- **イントロダクション**
- **ルネサスのCSR**
 - ルネサス企業理念
 - CSR憲章
 - 企業倫理プログラム
 - CSRビジョン
 - コーポレートガバナンス** ➔
 - CSR推進体制
 - リスクマネジメント
 - 情報セキュリティ対策
 - 品質保証への取り組み
- **法令遵守を超えて**
- **個人の尊重に向けて**
- **環境への取り組み**
- **ステークホルダーとのかわり**

ルネサスのCSR

コーポレートガバナンス

近年、企業価値の最大化を実現するために、コーポレートガバナンス（企業統治）強化の重要性がますます高まっています。ルネサスでは、企業の社会的責任を果たすことが企業価値を増大させる最も重要な要件であると考え、CSR憲章に基づいた、公正かつ透明性の高い日々の業務執行、スピードある経営意思の決定などを実現するためのコーポレートガバナンスの強化・運営を目指しています。

【取締役会】

経営目標・経営戦略など当社の重要な業務執行を決定します。取締役12名のうち1名が社外取締役となっています。また取締役とは別に8名の業務執行役員を置いています。

【監査役会】

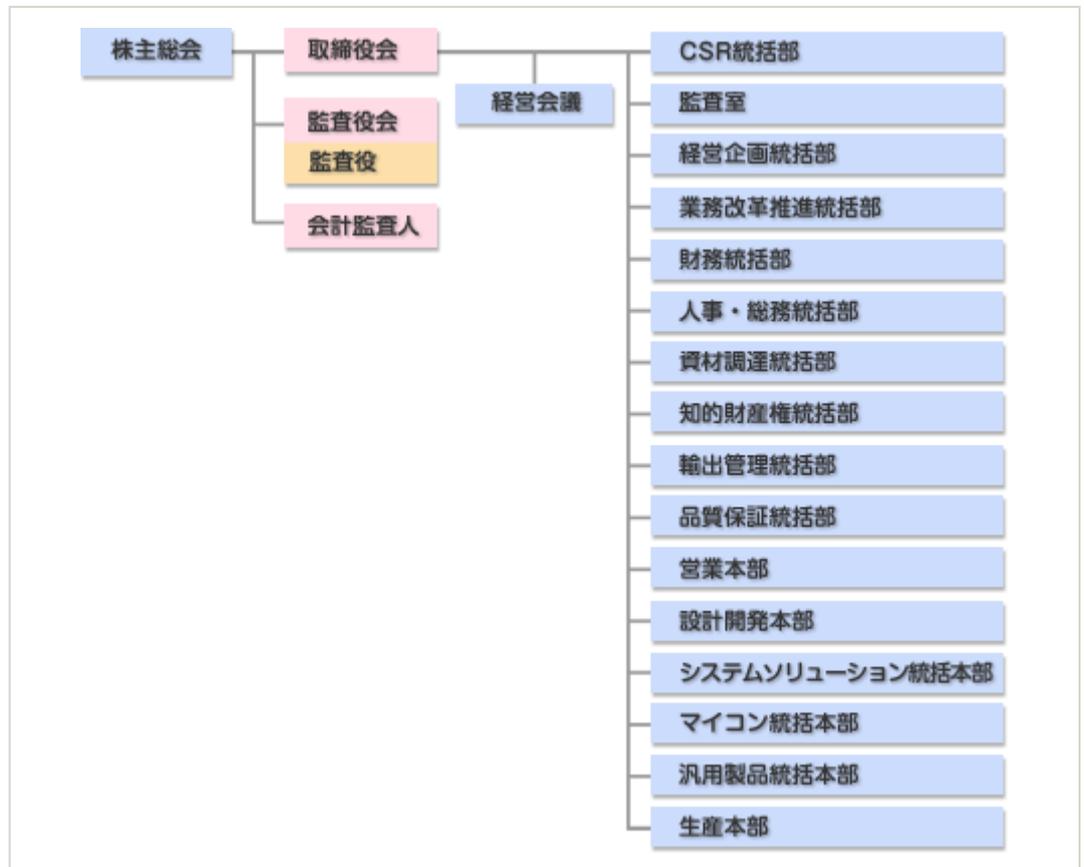
業務が法令や規則、定款に則り行われているかを監督し、監査に関する重要な事項の報告を受け、協議や決議を行います。

法令では社外監査役を半数以上置くことを要求されていますが、ルネサスでは、過半数（5人中3人）の社外監査役を置いており、経営のモニタリング機能（監査機能）の強化を図っています。

【会計監査人】

計算書類などの会計に関する書類が法令に従って作成されているかを監査します。

■ コーポレートガバナンス推進体制

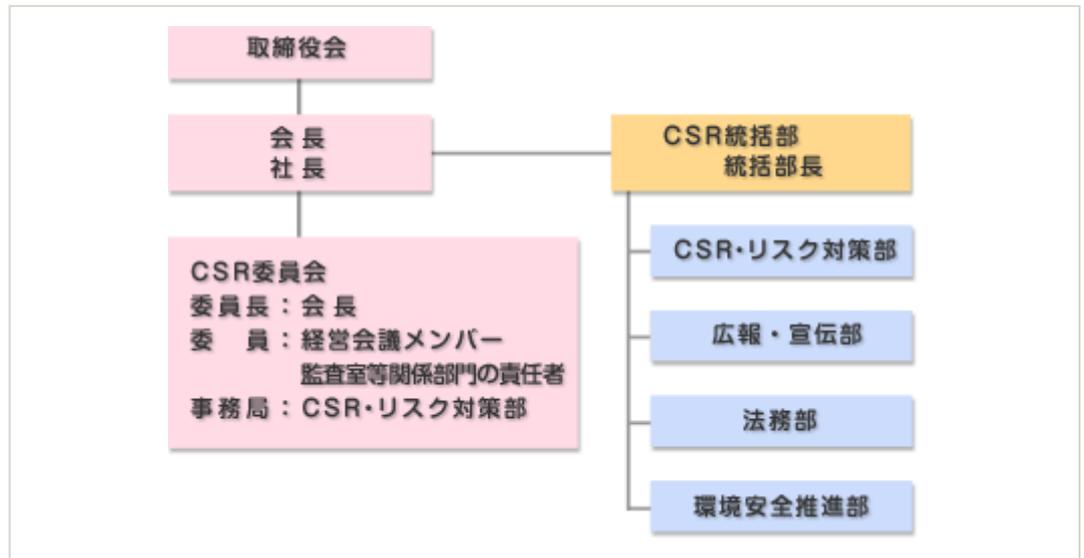


- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
 - [ルネサス企業理念](#)
 - [CSR憲章](#)
 - [企業倫理プログラム](#)
 - [CSRビジョン](#)
 - [コーポレートガバナンス](#)
 - CSR推進体制** →
 - [リスクマネジメント](#)
 - [情報セキュリティ対策](#)
 - [品質保証への取り組み](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境への取り組み](#)
- [ステークホルダーとのかわり](#)

ルネサスのCSR

CSR推進体制

CSR活動は、会社にいる一人ひとりが積極的に参加する全員の活動です。従ってCSRを推進する主体は社員一人ひとりですが、その活動をより効果的に進めるための委員会としてCSR委員会を設置し、その事務局としてCSR・リスク対策部があります。



[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

[上へ](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

ルネサス企業理念

CSR憲章

企業倫理プログラム

CSRビジョン

コーポレートガバナンス

CSR推進体制

リスクマネジメント →

情報セキュリティ対策

品質保証への取り組み

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとの かかわり

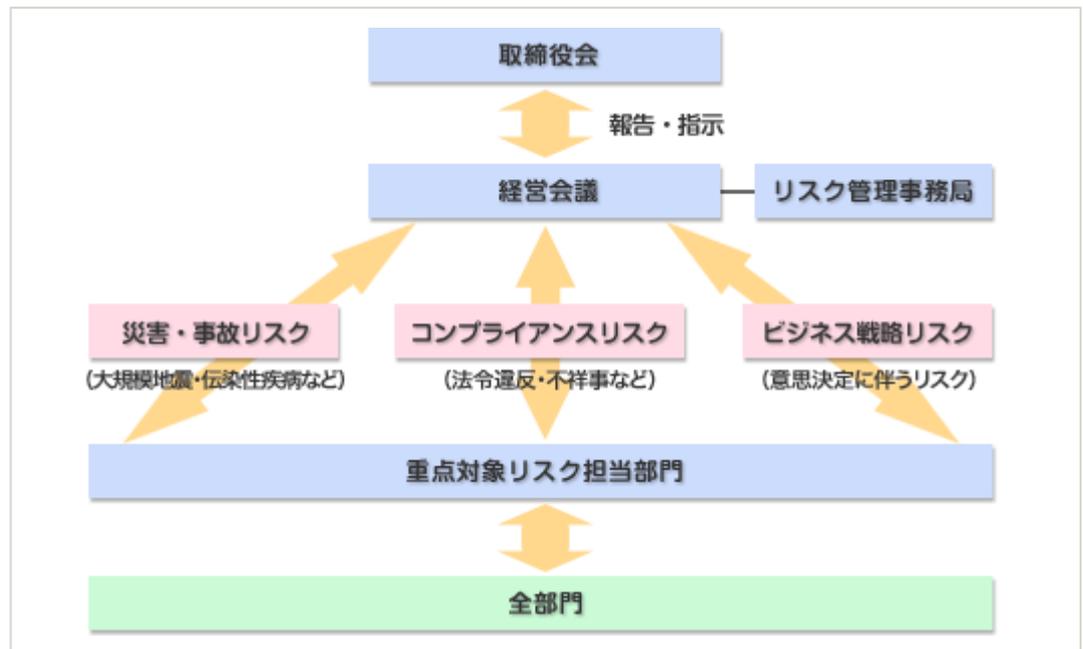
ルネサスのCSR

リスクマネジメント

ルネサスでは、当社グループにおけるリスク及び危機の管理体制、リスクの管理及び危機発生時の対応の手順を定めることにより、企業運営における損失の予防及び極小化を図り、更に公正・誠実な事業活動を推進し、お客様に安全・安心を提供していきます。

リスクマネジメント体制

「リスク・危機管理規則」を制定し、リスク及び危機の管理体制、リスクの管理及び危機発生時の対応等について会社としての基本方針を明確化しています。



企業を取り巻くリスクには、「事故災害」「法務(訴訟)」「財務」「労務」「政治」「経済」「社会」の7つの分野があるといわれています。CSR・リスク対策部は、セルフディフェンスと人命の尊重を基本理念とし、ルネサスグループの内外における事業活動を妨げる要因となるリスクの未然防止と緊急時の適切な対応を図ることをミッションとしています。事業のグローバル展開を図っているルネサスでは、国内・海外で起こりうるあらゆるリスクを想定し、以下の4つのポイントを備えるべき課題として設定しています。

- (1) 災害・事故(地震、噴火、暴風雨、火災、爆発、破裂、落雷、伝染性疾病など)
- (2) 政治紛争(テロ、戦争、革命、内乱など)
- (3) 犯罪行為(誘拐、ハイジャック、爆破、放火、脅迫など)
- (4) IT障害(ウイルス、ハッキングなど)

事業継続経営(BCM*)と事業継続計画(BCP*)

自然災害や火災・爆発事故により、被災企業のみならず取引先企業も事業活動に大きな影響を受けた事例を背景として、国内外のお客様からBCM/BCPの導入要請が高まっており、又、日本政府も内閣府・経済産業省ガイドライン、中小企業庁運用指針が公表され、BCM/BCPの導入は、企業の社会的責任の一つとなっています。

かかる状況下、ルネサスグループとしてCSR憲章を基本理念とし、次の方針に基づきBCM/BCPを推進しています。

■ BCM/BCP方針 ■

1. BCM/BCPを防災・危機管理の主軸と位置づけ、ルネサスグループを取り巻く様々なリスクに対し、予防・回避・克服するために日頃から必要な取り組みを積極的に推進し、継続的な製品・サービスの提供責任の履行並びに経営資源の保全を実現する
2. 万一、リスクが発生した場合には、お客様・従業員を含め業務に携わる全ての人々の人命を最優先とした対策を実施するとともに、二次災害防止、さらに事業の早期復旧を行う
3. BCM/BCPを定期的に点検・見直し、継続改善を行うことにより充実したものとして発展させる
4. BCM/BCPの構築および実施にあたっては、地域社会との共存関係の維持向上に留意する
5. 事業継続・発展のために経営者自らおよび社員一人ひとりが、平時より危機管理・実践的防災意識を高めるとともに、BCM/BCPの構築・推進に責任と使命があることを自覚し、主体的・積極的に参画する

* BCM(Business Continuity Management)/ BCP(Business Continuity Plan)

ルネサスグループBCM/BCPの概要

- (1) 国内外のお客様から大規模地震発生時の対応について、お問い合わせが増えていることも踏まえ、内閣府の推奨値である「震度6強」の被災を想定し、生産部門、営業部門、人事総務部門、資材部門、IT部門、設計開発部門等の全関係部門が自部門における安全対策、緊急時体制、被害軽減対策、事業継続対策、早期復旧対策を中心としたBCPを策定しています。
- (2) 上記のBCPを応用し、地震以外の自然災害、新型インフルエンザなどのリスクに対応したBCPIにも取り組んでいます。
- (3) 社内各部門が策定したBCPを経営的に統合・推進し、P・D・C・Aのサイクルにより各BCPを継続的に改善するシステムとしてBCMを構築しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

[上へ](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

ルネサス企業理念

CSR憲章

企業倫理プログラム

CSRビジョン

コーポレートガバナンス

CSR推進体制

リスクマネジメント

情報セキュリティ対策 →

品質保証への取り組み

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとの かかわり

情報セキュリティ対策

ルネサスのCSR

ルネサスグループでは、情報漏洩事故の防止のために情報管理体制の強化に努めており、全社規模の体制として本社に中央情報セキュリティ委員会を設置し、CSR統括部には情報セキュリティ対策専門部署としてCSR・リスク対策部を設置して運用しています。また、全ての規範となる情報セキュリティポリシーとその関連規則を整備し、全役員及び全ての社員に周知徹底し、情報セキュリティに関する社内の意思統一を図っています。

情報セキュリティに関する一連の施策として、早くから自社の情報セキュリティのリスク分析を行っており、どこに脆弱性があるかを把握し、きちんとした評価のもとに改善措置を実施しています。

ヒューマンエラー対策

ルネサスでは、情報セキュリティに万全を期すため、全ての社員に機密保持の自覚を促すとともに、ヒューマンエラーに対しては、IT支援ツールを活用するなどの予防措置を行っています。

- PCの紛失・盗難に対しては、第三者による不正なデータ読取への対策としてIT支援ツールを導入。
 - ▶ 暗号化ツールにはPCを介したデータ授受を記録する機能もあり、万一情報漏洩が起こった際に授受記録をトレースすることにより漏洩元の特特定が容易
 - ▶ パスワードの文字数、スクリーンロック起動時間など、PCの脆弱性確認の自動化を推進
- 仕事で個人のPCや記録媒体を使うことを禁止。
 - ▶ PC(暗号化)は会社から貸与。記録媒体はロゴ入りのUSB(暗号化)メモリーを配布
- 定期的に自己監査を実施
 - ▶ 情報セキュリティの取り組みが実際に機能しているかをチェックリストで定期的に確認

社員教育の実施

情報セキュリティに関する社員教育は、新入社員教育等の職能別教育でセミナーを開催しているほか、独自に作成した教材を元にe-Learningを利用して全社的な教育を実施しています。また、セミナー等では対応できない小規模の販売店や協力会社向けにビデオ教材を作成。小規模拠点でも本社と同レベルの教育が受けられるよう工夫しています。

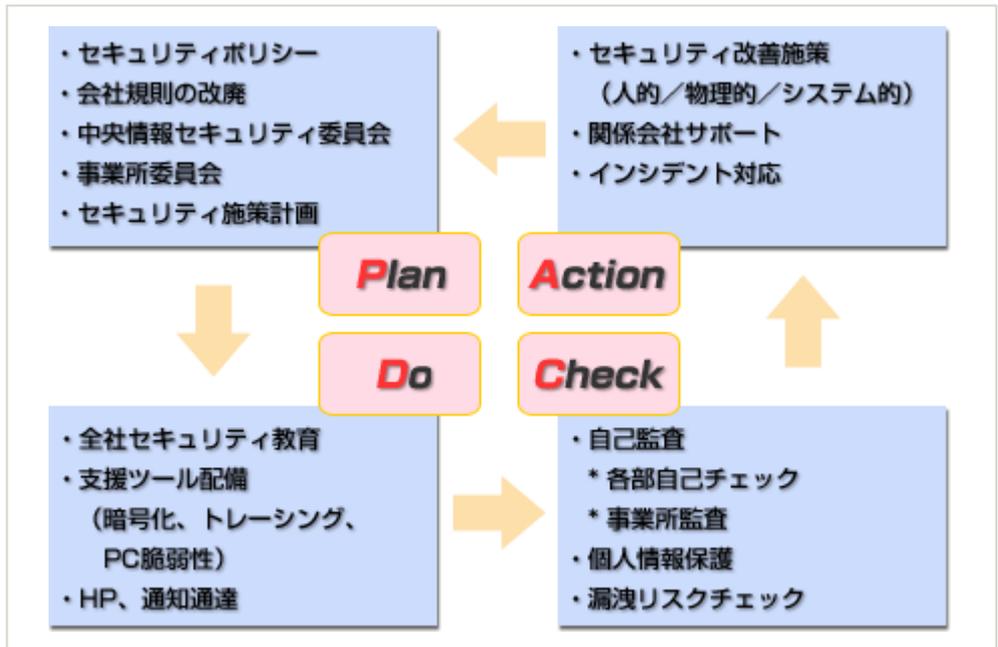
■ 情報セキュリティの体制



■情報セキュリティ対策の取組み状況

No.	取組項目	概要
(1)	管理体制の整備	中央情報セキュリティ委員会及びセキュリティ対策専門組織を設置し、各部門でのセキュリティ活動の展開のため、部毎に推進リーダーを任命。
(2)	規則の整備	情報セキュリティポリシーを最上位の規則と位置付け、セキュリティ対策を実行するための関連規則を整備。また、セキュリティを取り巻く環境の変化に応じて随時見直しを実施。
(3)	教育・啓蒙	全役員及び従業員に対してe-Learning等を活用しセキュリティ教育を実施。また、教育終了時には各種規程や法令の遵守についての誓約書を提出させ、セキュリティ対策の重要性の認識を徹底。
(4)	支援ツールの導入	会社から貸与するPCには暗号化ツールを導入しデータを保護している他、パスワードの文字数等の脆弱性確認の自動化を推進。その他、ウイルス対策やメール/Webのフィルタリング、パスワードクラッキング対策等を実施。
(5)	アクセス制御の実施	PCの管理者権限のIT部門への集約やイントラネット内のアクセス制御を強化することにより、内部の者によるヒューマンエラー等による事故を防止。
(6)	監査	部門毎にチェックリストによる自己監査を実施。また、中央情報セキュリティ委員会の監査班による現地審査を実施し、情報セキュリティ対策の改善を実施。
(7)	インシデント対応	インシデントが発生した際や、発生する可能性がある場合は、各部門から中央情報セキュリティ委員会へ迅速に報告することを義務付け、会社として統一された対応を取るよう体制や規則を整備し、運用を実施。

■情報セキュリティの運用サイクル



■個人情報保護方針

■個人情報保護方針■

ルネサス テクノロジは、ユビキタス時代のリーダーを目指す半導体メーカーとして、お客様、取引関係者、役員及び社員（嘱託、顧問、パートタイマー、アルバイト、契約社員、派遣社員等を含みます）の個人情報の価値を十分に尊重し、その厳正な管理体制の確立と徹底に努めます。

※ルネサス テクノロジの個人情報保護方針の全文は[こちら](#)から

■ イントロダクション**■ ルネサスのCSR**[ルネサス企業理念](#)[CSR憲章](#)[企業倫理プログラム](#)[CSRビジョン](#)[コーポレートガバナンス](#)[CSR推進体制](#)[リスクマネジメント](#)[情報セキュリティ対策](#)[品質保証への取り組み](#)**■ 法令遵守を超えて****■ 個人の尊重に向けて****■ 環境への取り組み****■ ステークホルダーとの
かかわり**

品質保証への取り組み

[ルネサスのCSR](#)

ルネサスは「信頼される企業」を目指すことをビジョンに掲げており、それを達成する重要なポイントのひとつが、お客様に安心して使っていただける品質の製品を提供していくことと考えています。これを実現させる品質保証の取り組みとして、基本的な品質方針を定め全社員に徹底するとともに、国際規格であるISO9001、およびISO/TS16949を取り入れた、全社的な品質マネジメントシステムを構築し、お客様に満足いただける品質の実現に全員で取り組んでいます。

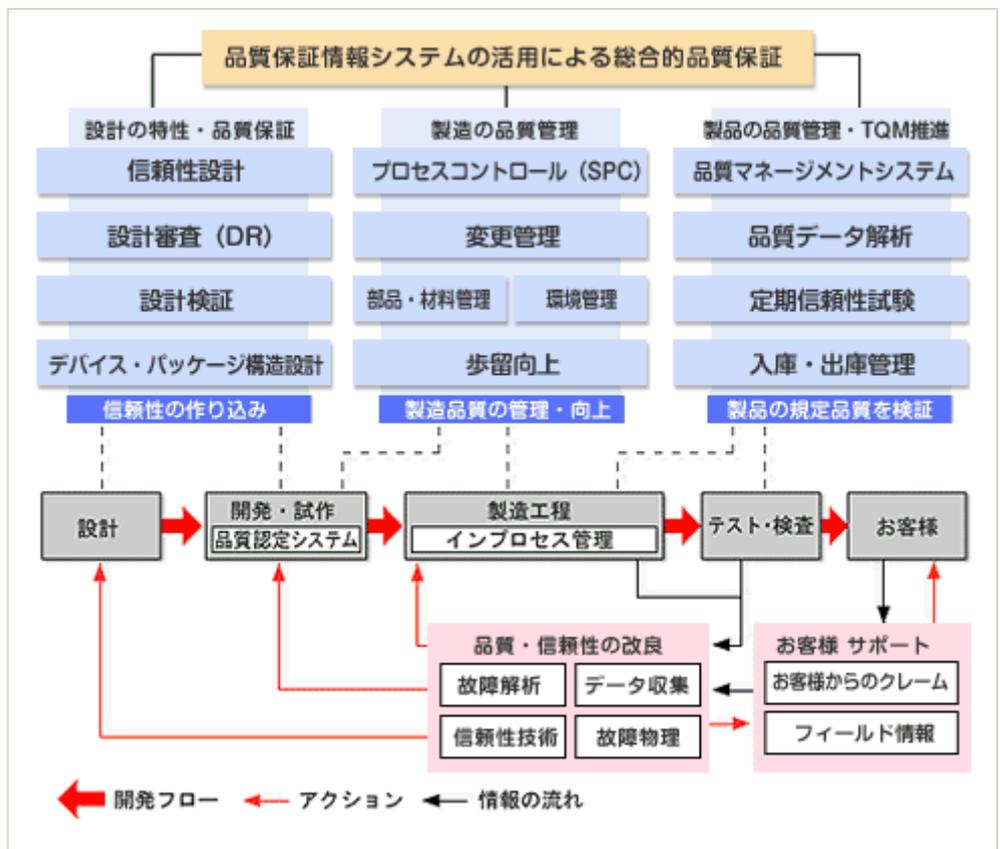
■ ルネサス品質方針**■ ルネサス品質方針 ■**

半導体製品がもたらす社会への影響の継続的拡大を十分に認識し、この認識に基づく品質改善活動を継続的に推進することを、当社の品質基本方針とする。

- 1.お客様に十分満足いただける品質の製品を提供することを第一とする。
- 2.倫理・法令を遵守し、常に注意を怠ることなく業務を行う。
- 3.ISO9001、ISO/TS16949規格に基づいた、品質マネジメントシステムを構築し、そのシステムの有効性の継続的改善を図る。
- 4.下記重点課題に対し、各階層において品質目標を年度ごとに設定し、その達成を図る。また、常にその達成状況をレビューし、フィードバックする。

- (1)開発・設計段階では品質の作りこみを徹底する。
- (2)製造段階ではゆらぎのない品質を目指し、また、異常を早期発見する仕組みをつくる。
- (3)不良品の流出防止を徹底し、お客様への不良品流出ゼロを目指す。
- (4)従業員、及び仕事の質的レベルアップを図る。

■ 品質保証システム



『信頼性ハンドブック』の発行・配布

お客様からのご要望にも応え、ルネサスの品質に関する考え方・品質保証の仕組みをはじめ、製品の開発設計段階からの品質の作りこみのための信頼性技術、故障解析技術までを系統的にまとめた、『信頼性ハンドブック』を発行し、冊子とPDFデータでお客様に配布しております。



『信頼性ハンドブック』冊子版

WebのPDFダウンロードページへのアクセス数も多く、お客様にも好評。
ダウンロードページは [こちら](#) から

ISO9001・ISO/TS16949認証取得状況

拠点名	ISO9001 登録年月	ISO/TS16949 登録年月
ルネサス テクノロジ 本社及び各事業所	1993年9月 ～1994年10月	2004年12月
ルネサス北日本セミコンダクタ 本社及び各事業所		
ルネサス東日本セミコンダクタ 本社及び各事業所		
ルネサスハイクオリティーズ		
ルネサス那珂セミコンダクタ		
ルネサスデザイン ルネサスクオリティエンジニアリング		
(以上のISO9001は、ルネサステクノロジ設立前の日立製作所、三菱電機時代に取得)		
ルネサス九州セミコンダクタ	1994年11月	2004年3月
ルネサス柳井セミコンダクタ	1994年6月	2008年1月
ルネサスハイコンポーネンツ	1994年12月	-

ルネサス販売	2006年12月	2006年12月
Renesas Semiconductor (Beijing) Co., Ltd	2001年6月	2006年5月
Renesas Semiconductor (Suzhou) Co., Ltd	1998年12月	-
Renesas Semiconductor (Malaysia/PENANG) Sdn. Bhd.	1993年12月	2007年9月
Renesas Semiconductor (Malaysia/KEDAH) Sdn. Bhd.	1993年12月	2007年9月
Renesas Technology America Inc.	-	2004年12月
Renesas Technology Europe GmbH.	1993年2月	2004年12月

品質向上への取り組み

微細化と高機能化のスピードが非常に速い半導体製品において、特に高い品質・信頼性・安全性を確保していくために、ルネサスでは「品質は経営の基本である」との観点から、製品の品質向上に積極的に取り組んでいます。

具体的には、全体的なレビューを行う「品質マネジメントレビュー会議」と組織的・経営的な面から品質改善を行う「品質経営委員会」において、全社レベルでの品質に関する評価を実施しています。

また、製品の設計品質を高めるための設計審査、究極的な品質を目指す工程品質管理などを通して、品質改善のサイクルが常に前進するように運営することで、総合品質の向上に努めています。

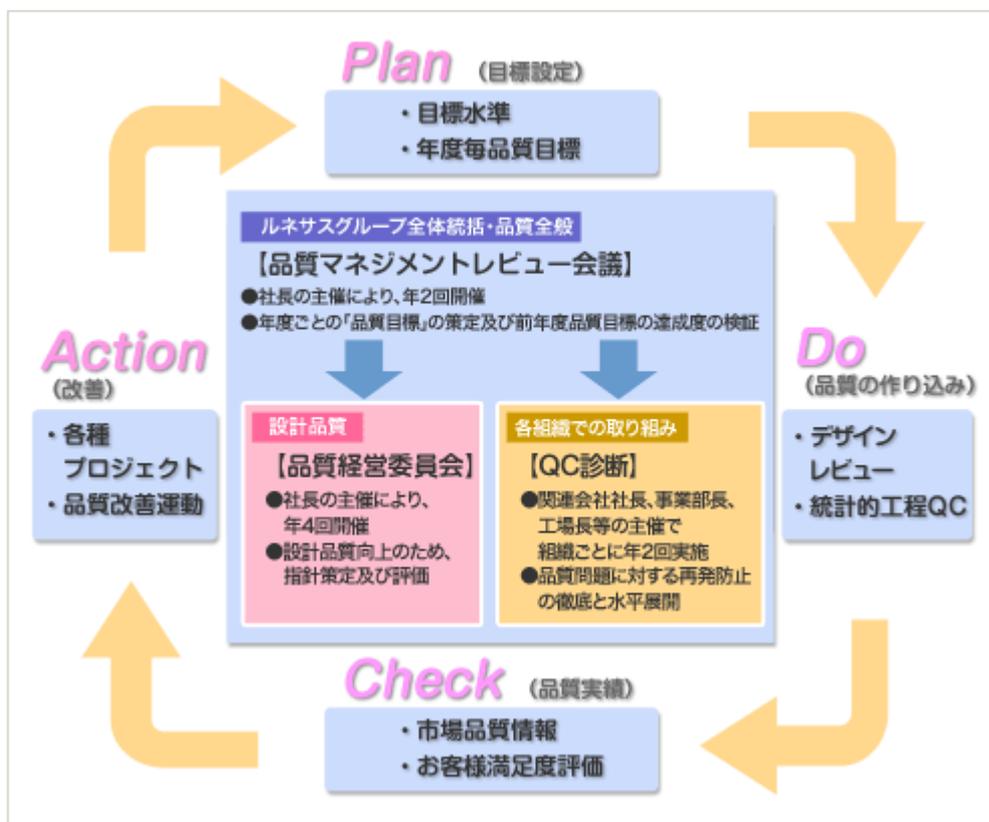
海外拠点における品質向上の取り組み

海外に生産拠点を数多く持つ当社は、海外拠点における品質管理・品質向上も大きな課題と認識し、現地の法令や労働条件、生活文化等に配慮しながら従業員教育をはじめとする様々な施策に取り組んでいます。これまでのような設計は国内、生産は海外ではなく、海外の設計拠点の拡大への対応に力を入れています。

具体的な取り組みは以下の通りです。

- (1) 設計源流品質の向上
- (2) ISO/TS16949品質マネジメントシステムの活用推進
- (3) 海外製造拠点、アウトソーシング、部材メーカーへの指導強化

■ 品質マネジメントシステム



製品の安全性

ルネサスでは、完成した半導体製品の品質保証はもちろん、半導体を組み込み、搭載されるお客様の最終

製品やシステムが安全に動作することが、真の製品安全性であると考えています。
最終製品やシステムの動作環境・使用環境、想定される様々な負荷を想定して、適切な半導体製品を搭載
していただくために、お客様と常に緊密なコミュニケーションを図っています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[上へ](#)

■ [イントロダクション](#)**■** [ルネサスのCSR](#)**■** [法令遵守を超えて](#) **→**[法令遵守](#)[安全保障輸出管理
への取り組み](#)[反社会的取引防止
活動の推進](#)[内部統制
ルネサス企業倫理
ホットライン](#)**■** [個人の尊重に向けて](#)**■** [環境への取り組み](#)**■** [ステークホルダーとの
かかわり](#)**法令遵守を超えて**

RENESAS CSR REPORT 2009

法令や国際ルールの遵守はもちろん、高い企業倫理の下での経営を目指します。

法令遵守

ルネサスグループは、会社規則において諸法令の遵守を義務付け、社内教育の実施を通じて社員の遵法意識の涵養を図るとともに、内部監査などを通じて、法令違反行為の防止・是正にあたっています。

安全保障輸出管理への取り組み

国の定める安全保障輸出管理に関する法令遵守はもちろん、企業として自主的に実施すべき事項を定め、法令を超えたレベルの管理を行っています。

反社会的取引防止活動の推進

反社会的取引の防止に関しては、「企業倫理プログラム」で明確に定め、ルネサスグループとして積極的な取り組みを行っています。

内部統制 ルネサス企業倫理ホットライン

内部統制に関する法令に対応するための取り組みを行っています。また、公益通報者保護法の趣旨を反映した会社規則を制定し、ルネサス企業倫理ホットラインを運用しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ イントロダクション**■ ルネサスのCSR****■ 法令遵守を超えて****法令遵守** →[安全保障輸出管理への取り組み](#)[反社会的取引防止活動の推進](#)[内部統制ルネサス企業倫理ホットライン](#)**■ 個人の尊重に向けて****■ 環境への取り組み****■ ステークホルダーとの
かかわり**

法令遵守

[法令遵守を超えて](#)

ルネサスグループでは、法令の遵守を「CSR活動を進める上での前提として最低限確保すべきレベル」と位置づけ、「CSR憲章」において各国の法令や国際ルールを遵守することを宣言しています。

ルネサスグループは、各社の会社規則において諸法令の遵守を義務付け、社内教育の実施を通じて社員の遵法意識の涵養を図るとともに、内部監査などを通じて、法令違反行為の防止・是正にあたっています。

コンプライアンス総点検

各種法令や会社規則の違反リスクの洗い出しを目的としてルネサスグループの各部門において2006年度に実施した「コンプライアンス総点検」の結果を踏まえ、2008年度は「コンプライアンス定期点検」を実施し、コンプライアンス点検のPDCAサイクル化に着手しました。

独占禁止法の遵守

ルネサスでは、独占禁止法の遵守を徹底するために社員教育の強化を進めています。従来から実施していた営業職や管理職に対する教育に加え、2008年度は日本、欧州、米国及びアジアの各拠点の社員向けに教育を実施しました。またe-Learningシステムを用いた教育も行いました。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[イントロダクション](#)[ルネサスのCSR](#)[法令遵守を超えて](#)[法令遵守](#)[安全保障輸出管理への取り組み](#) →[反社会的取引防止活動の推進](#)[内部統制](#)[ルネサス企業倫理ホットライン](#)[個人の尊重に向けて](#)[環境への取り組み](#)[ステークホルダーとのかわり](#)

安全保障輸出管理への取り組み

[法令遵守を超えて](#)

ルネサスグループの半導体製品とその技術は、あらゆる産業分野で活用されています。これらが国際的な平和・安全の維持を妨げる目的に転用されることのないよう、日頃から適切に取り扱う必要があります。

ルネサスグループでは、国の定める安全保障輸出管理に関する法令遵守はもちろんのこと、企業として自主的に実施すべき事項をコンプライアンスプログラムに取りまとめ、法令を超えたレベルの管理を行っています。

また、社員の誰もが最新の世界情勢に合わせた適切な対応ができるよう、安全保障輸出管理の重要性の認識教育を、グループ全体で実施しています。さらに定期的に監査を実施し、必要により改善を図ることで、常に適正な状態が維持されるように管理しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR****法令遵守を超えて**

法令遵守

安全保障輸出管理
への取り組み**反社会的取引防止
活動の推進** →内部統制
ルネサス企業倫理
ホットライン**個人の尊重に向けて****環境への取り組み****ステークホルダーとの
かかわり**

反社会的取引防止活動の推進

法令遵守を超えて

「企業倫理プログラム」において、「私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切取引を行いません」と定め、反社会的取引(いわゆる総会屋活動およびこれに類似する不正な収益を企業から獲得する活動を行う者との直接または間接の取引)の防止にルネサスグループとして積極的に取り組んでいます。具体的には、各事業所・各関係会社に自己検証委員会を設置し、自己規律をもって取引可否を判断し、反社会的取引の防止に努めています。また、グループ全体を統括する中央自己検証委員会を設置し、方針の決定、啓蒙・指導活動、各事業所・各関係会社の運用状況の確認等行っています。

2008年度は、各種契約締結に際し、暴力団排除条項を契約書に織り込むことを2007年度に引き続き推進しました。また、事件として世間を賑わせているオレオレ詐欺を始めとする悪質商法について、ルネサスグループの社員及び家族に被害が及ばないように注意喚起を実施しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR****法令遵守を超えて**

法令遵守

安全保障輸出管理
への取り組み反社会的取引防止
活動の推進**内部統制****ルネサス企業倫理
ホットライン** →**個人の尊重に向けて****環境への取り組み****ステークホルダーとの
かわり**

内部統制 ルネサス企業倫理ホットライン

[法令遵守を超えて](#)

内部統制

2006年に施行された会社法に対応するため、内部統制システム整備の基本方針を取締役に決定しました。その後も、ルネサスや社会の状況変化に合わせ、基本方針の見直し決議を行っています。また、財務情報の適正性を確保するために必要な体制等を求める金融商品取引法（いわゆる日本版SOX法）に対応し、財務報告に係る内部統制システムの整備、運用に取り組んでいます。

ルネサス企業倫理ホットライン

2006年4月に施行された「公益通報者保護法」に基づき、ルネサスでは、本法律の趣旨ならびに「ルネサスCSR憲章」に基づく企業倫理に関する考え方に鑑み、この法律の施行に先立って、2006年1月10日付で「ルネサスグループ企業倫理ホットライン運用規則」を制定。同時に通報者の窓口となる「ルネサス企業倫理ホットライン」を設置し、運用を開始しました。

組織的または個人による倫理（公序良俗）、法令、規則に違反する行為または違反するおそれのある行為により、会社は、結果として人的・物的に多大な損失を被ることとなります。また社会に対しても大きな影響を与え、企業や業界への不信感を育んでしまう恐れもあります。このような行為の抑止と、万一の場合の迅速かつ適正な対応を図るべく、グループ全社で「ルネサス企業倫理ホットライン」の活用に取り組んでいます。

「ルネサス企業倫理ホットライン」の2008年度相談実績は3件あり、これらの事案の中に違法行為や倫理（公序良俗）違反に繋がる事実はありませんでした。また、コンプライアンス総点検をPDCA化したコンプライアンス定期点検の結果、法令や会社規則等に違反する問題が無いことを確認することができましたが、引き続きその状態を維持していく手段の一つとして「ルネサス企業倫理ホットライン」は大いに有効と考えますので、“より通報し易いシステム”に改善し、“通報することへの抵抗感をより小さくする工夫”に努めております。また、併せて社内報やイントラネットで「ルネサス企業倫理ホットライン」のPRを進めております。

※公益通報者保護法：事業者の違反行為について通報を行った労働者を解雇などの不利益な取扱いから保護することを定めた法律。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR****法令遵守を超えて****個人の尊重に向けて** →

人が育つ会社となる
ために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理

福利厚生と
次世代育成支援

環境への取り組み**ステークホルダーとの
かわり****個人の尊重に向けて**

RENESAS CSR REPORT 2009

社員の安全、健康を考えるとともに、働きやすい職場づくりを考えます。

人が育つ会社となるために

ルネサスの人材に関するこれからの取り組みの考え方や人事処遇制度のコンセプトなどをご紹介します。

人材育成

時代の変化に即応できる人材を育てるための、個々の人材の強化と組織の活性化に向けた取り組みについて。

多彩な人材の活用

障害者の採用活動を継続するとともに、障害者にとっても働きやすく、魅力的な職場を作りを進めています。

人権啓発活動について

ルネサスは、働く全ての社員の人格・人権を尊重し、差別のない誰もが働きやすい職場作りを目指しています。

労働安全衛生と健康管理

ルネサスでは、社員の安全と健康を守り、働きがいのある快適な職場環境の形成を企業活動の基本として、日々の活動に取り組んでいます。

福利厚生と次世代育成支援

社員一人ひとりの安心と勤労意欲向上に向けた福利厚生制度、および仕事と家庭の両立をサポートする次世代育成の支援制度について。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

人が育つ会社となる
ために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理福利厚生と
次世代育成支援

■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとの
かわり

人が育つ会社となるために

個人の尊重に向けて

ルネサスでは「人材と組織の活性化」を経営基盤の重要な要素と位置づけ、個人→会社→社会の発展が同心円で拡大していくことを目指し、人事に関する様々な取り組みを推進しています。

また、会社にとって重要な財産と言える社員に対し、公正な処遇に心がけ、その個性・多様性を尊重し、社員一人ひとりが高いモチベーションを持って仕事に取り組めるよう様々な支援を行っています。2005年にルネサスグループ全社を対象とした人事処遇制度のコンセプトを定めて以来、着実に取り組んでいます。

人材に関するこれからの取り組みの考え方

1. 仕事を通じて、一人ひとりが、技術・知識・スキルを向上させるとともに、職業人・社会人としても成長していくことを大切にする
2. 組織の結集力を高め、一人ひとりの潜在能力をフルに発揮させる。その具体的な成果を、直接、間接に会社の発展につなげていく
3. 事業活動を活発にすることで、ルネサスの追及する『安心・快適・夢』の価値を、より多く広く社会に提供していく

人事処遇制度のコンセプト

1. ルネサスの人事処遇制度は「役割・成果主義」をコンセプトとして構築
2. 役割レベル、またその役割における行動・成果に応じ賃金・賞与を支給
3. 成果主義を基本とするが、成果のみを処遇に反映するのではなく、行動も重視する
4. また、処遇評価、能力開発、配置が三位一体となり、相互に連動・循環する制度を目指す

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)



製品 アプリケーション サポート

キーワード / 型名

その他の検索

ホーム / CSRへの取り組み / 個人の尊重に向けて / 人材育成

このページへのご意見
このページを印刷

- イントロダクション
- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
 - 人が育つ会社となるために
 - 人材育成**
 - 多彩な人材の活用 (社員コメント)
 - 人権啓発活動
 - 労働安全衛生と健康管理
 - 福利厚生と次世代育成支援
- 環境への取り組み
- ステークホルダーとのかわり

人材育成

個人の尊重に向けて

ルネサスが継続的に成長・発展し、広く社会に貢献していくためには、社員一人ひとりの成長と活躍が不可欠です。ルネサスでは、グループ全社の人材育成を促進する組織として「人材育成委員会」を年2回開催し、全社の人材育成方針の作成、具体的な施策の実施、予算配分などを行っています。また各事業所にもそれぞれ事業所単位の人材育成委員会を設け、本社で打ち出した人材育成方針を受けて、現場レベルでの各施策に取り組んでいます。

時代の変化に即応できる人材を育てるため、人材育成方針は年度ごとに改善・修正が行われ、「社員意識調査」で集められた社員一人ひとりの声も反映されます。例えば、クロスメンター制。新入社員一人一人に対し、「メンター」として設定された他部署の入社5～6年の若手社員が、新入社員の会社生活・仕事上の「悩み」の相談に乗り、新入社員の育成をサポートする制度です。社員意識調査や若手社員の意見を吸い上げ、08年6月に導入しました。新入社員と若手社員のコミュニケーション力とチームワーク力を向上させて、双方の成長を加速し、ルネサス全社の組織の活性化につながる仕組みです。

■ 人材と組織の活性化に向けた取り組み

区分	項目 (各社・各層にて項目の相違があるが、同様の考え方で展開)
1 <個の強化>	個人別のスキルの向上・能力開発計画の拡充
2	国際化力の強化 (国際感覚の付与機会増加、海外業務キャリアの明確化、海外勤務者へのケアの充実等)
3	事業所単位での教育施策の拡大 (階層別研修の充実)
4	関係会社と海外現地法人の教育体系の整備・拡充
5	開発・設計技術者を中心とした採用数の増加とリクルート活動の拡大
6	多様な人材及び外部リソースの活用強化
7 <結集力の高揚>	幹部と中堅・若手層のコミュニケーションの増加
8	部門別研修の継続・質の向上
9	目標管理制度 (MBO) の更なる有効活用 (コミュニケーションツール)
10	クロスメンター制の実施 (新人を他職場の先輩社員がサポート)
11	若手層のコミュニケーション能力向上研修の全社展開
12 <処遇その他>	昇給・賞与制度運営のリファイン (メッセージ性の向上ほか)
13	表彰制度の拡充 (より積極的に、きめ細かく、タイムリーに表彰可能な仕組みを構築)
14	ライフワークバランスの追求
15	社員意識調査の実施

■ ルネサス全社教育体系

	新人	担当者～係長	課長	部長以上
階層別教育	導入教育	メンター導入研修	選抜課長級研修	選抜部長級研修
	1年目振り返り研修	育成担当者研修		
	研修成果報告	新任係長級研修	新任課長級研修	リーダーシップ研修
技術教育	基礎コース	専門コース (約70講座)		
	特許研修	スキルチェックトライアル		
職能研	営業事例研修			
	営業実務 / スキル / 技術知識 (約80講座)			

修 技能 教育	生産リーダー育成研修
	基幹職新人教育
	ルネサスSETカレッジ 社内技能検定
国際化教育	海外留学/OJT
	選抜中国語教育
	社内英語検定
ビジネス スキル教育	国内留学(大学/ビジネススクール派遣) ロジカルシンキング・プレゼンテーション研修
共通教育	RISM研修
	幹部推薦図書
	CSR教育
自己啓発 支援	通信教育
	語学研修(英語・中国語)

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

[イントロダクション](#)
[ルネサスのCSR](#)
[法令遵守を超えて](#)
[個人の尊重に向けて](#)

人が育つ会社となる
ために

人材育成

**多彩な人材の活用
(社員コメント)**

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理

福利厚生と
次世代育成支援

[環境への取り組み](#)
[ステークホルダーとの
かかわり](#)

多彩な人材の活用

[個人の尊重に向けて](#)

ルネサスでは、グローバルな視点に基づいた多彩な人材の活用への取り組みを強化促進しております。国籍、性別、身体的なハンディキャップの有無を問わず、誰もがそれぞれの能力を活かせる企業として社会に貢献できるよう、採用活動を行っていくことはもちろんですが、働きやすく、魅力的な職場作りを継続していきます。また、当社の障害者雇用率は、2009年6月1日時点で1.86%です。各事業所で雇用促進の取り組みを継続した結果、昨年に引き続き法定基準(1.8%)を達成できました。

バリアフリー環境の整備

北伊丹事業所では、従業員の憩いの場となっている社屋屋上を、身体的なハンディを持つ社員にも気軽に利用できるよう屋上への通路にリフトやスロープを設置しています。また、今後建築物や施設の新規建設、リニューアルを行う際には、様々な角度からバリアフリー環境の整備を実施する方針です。



北伊丹事業所、社屋屋上へのリフト。

社員コメント

**ワーク&ライフのバランスを取りながら、
ルネサス デザイン ベトナムの発展に寄与したい。**

ルネサス デザイン ベトナム
人事部 部長
Ha T. N Ho



ルネサスで働くことについて

1. 自分が働く企業としてルネサスを選んだ動機を教えてください。

ルネサスに入社する以前は、自動車業界で働いていました。これに比べてハイテク産業、特に半導体部門はベトナムでは非常に新しい分野で、優秀な人材が求められています。このような理由で、私はもっと多くのことを習得したいと思い、ルネサス デザイン ベトナム(略称:RVC)への入社を決心しました。

また別の理由もありました。RVC入社以来、朝の通勤時間が短縮されました。子供達が学校に行く時刻に、私が家で彼らを送り出してあげられるため、子供達はとても喜んでます。

2. ルネサスは、女性が働きやすい企業だと感じますか？

はい、もちろんです。

RVCでは平等の原則が極めて厳格に守られています。尊敬、報酬、福利、および特に昇進の機会においても、男女が常に平等に扱われています。私自身、RVCの女性従業員であることに満足を感じていますし、他のスタッフも同じだと思います。

また、RVCの職場は快適性と安全性が確保されていると思います。それにビルの窓から見える景色も素敵です。ここからは緑の木々、雨の降る様子、白い雲に青い空を見ることができ、沢山の大きな船がサイゴン川を流れていく様子は優雅でさえあります。最近では、魅力的で素晴らしい輝くようなフーミー橋が気に入っています。RVCのビルからは、目覚ましい発展を続けるホーチ

ミン市の新しいシンボリック存在のこの橋を、はっきりと見ることができます。

3. ルネサスで働いて、良かったと思うことを教えてください。

ここで最も良い点はチームワークです。上司、ルネサステクノロジーの人事部門、職場の同僚、および他の関連部署も含めて、常に強力なサポートを受けているため、入社以来あまりストレスを感じたことがありません。情報やサポートを必要とする時はいつでも、周囲の人達が即座に自分の経験談を話し、アドバイスを与えてくれます。私が長期間RVCでの勤務を続けるためには、これこそが最も重要なモチベーションです。

職務内容について

1. 現在担当されているお仕事の概要を教えてください。

私の職務は人事に関する事柄で、それには採用、報酬と福利、労働関係、および管理者研修が含まれます。RVCは急成長を遂げつつあるハイテク企業であるため、毎年人材採用には大きなニーズがあり、一年当たりおよそ100名のデザインエンジニアを採用しています。RVC従業員のモチベーションを維持することが私に与えられた仕事であり、会社の予算と整合性を保ちながらも、RVCの雇用条件が決してベトナム内の他のハイテク企業に引けを取らないように、いろいろな提案を行っています。RVCは若い会社です。若手リーダーの多くが80年代生まれで、マネジメントの経験もさほど多くはありません。これらの若手リーダーにマネジメントの知識を提供し、経営手腕の向上に資することもまた、私の重要な仕事です。

2. その今のお仕事は、自分の希望通りの仕事ですか？

もちろんです！今やっている仕事こそ、私がいつもやりたいと思っていた内容です。この仕事を通して、あらゆるレベルの人達とコミュニケーションを交わし、関係を築き上げる機会が私に与えられます。同時にまた、若いエンジニアの成長を通して会社の発展を目の当たりにすることは、これまでの私の経歴の中でも、最も興味深くかつ有意義な経験であると言えます。

職場環境について

1. 人事総務の責任者として、RVCの職場環境をどのように考えていますか？

正直なところ、私の職場は非常に親しみやすい環境にあります。私たちは一緒に働き業務を分担し合うだけでなく、一緒に生活し、趣味を共有し、不平も幸福も分かち合います。それに上述した通り、RVCは従業員を公平に処遇しています。私たちは公正な採用、評価、競争における平等の原則を尊重し、それに従って勤務しているのです。

2. 「働きやすい職場」であるためには、どんなことが大事だと考えていますか？

私の考えでは、最も重要なことは従業員の一人一人が誠意をもってお互いに接することだと思います。人と人との関係の最高の状態は、心をこめて協同し、忠誠を尽くし、正直に行動する場合にのみ到達できるものです。このような環境の中で初めて、「働きやすい職場」が出来上がります。

今後の展望について

1. お仕事における今後の目標を教えてください。

第一に、RVCのより急速な発展に向けて、より高度な技術を持つエンジニアを採用することです。次に、離職率を低下させ、会社の経営に安定性を付与することです。最後に、私はRVCの従業員同士のコミュニケーションを更に良くしたいと思っています。RVCの職場環境が今後一層改善されることを願って止みません。

2. 仕事またはプライベートで、将来実現したい夢はありますか？

仕事上では、ベトナムの有能な新卒者にとって、RVCが「最も就職したい企業」となることです。RVCの従業員は、ますます自分の会社に誇りを持つことでしょう。RVCが一層独立性を増し、最も重要で最大のデザインセンターへと成長し、ルネサスグループ全体の成功に大きく貢献することになります。最後に、これも極めて大切なことですが、全従業員の顔を見ただけでその名前から性格まで分かるようになれば、素晴らしいと思っています。プライベートでは、第一に、私の国がより一層成長することを願っています。特に、私たちの子供の教育環境を改善する上で、これは非常に重要な問題です。次に、仕事と家庭とのバランスをうまくとることも、自分の生活を楽しむ時間を確保する上で重要だと思います。5年以内にはアメリカとヨーロッパに行きたいとも思っています。ベトナムと他の諸国との違いをこの目で見れば、ベトナムを一層良くすることにつながるのではないのでしょうか。

■ [イントロダクション](#)**■** [ルネサスのCSR](#)**■** [法令遵守を超えて](#)**■** [個人の尊重に向けて](#)[人が育つ会社となる
ために](#)[人材育成](#)[多彩な人材の活用
\(社員コメント\)](#)[人権啓発活動](#) **➔**[労働安全衛生と
健康管理](#)[福利厚生と
次世代育成支援](#)**■** [環境への取り組み](#)**■** [ステークホルダーとの
かかわり](#)

人権啓発活動について

[個人の尊重に向けて](#)

人権問題の解決は国民的課題であり、この問題に関する企業の社会的責任は重大なものといえます。ルネサスは、働く全ての社員の人格・人権を尊重し、差別のない誰もが働きやすい職場作りを目指しています。そのために「人権啓発推進委員会」を年1回開催し、社員一人ひとりがその本質を理解するため、研修などの啓発活動を通じて人権意識の浸透に取り組んでいます。またセクシャルハラスメントについては、「セクシャルハラスメント防止に関する全社指針」を定め、セクシャルハラスメントならびに疑われる行為の防止に努めるとともに、「セクシャルハラスメント相談・苦情窓口」を設け、相談しやすい環境づくりにも取り組んでいます。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ イントロダクション**■ ルネサスのCSR****■ 法令遵守を超えて****■ 個人の尊重に向けて**

人が育つ会社となる
ために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

**労働安全衛生と
健康管理** →

福利厚生と
次世代育成支援

■ 環境への取り組み**■ ステークホルダーとの
かわり**

労働安全衛生と健康管理

個人の尊重に向けて

社員の安全と健康を守ることは、最優先事項であると考えます。ルネサスでは社員の安全と健康を守り、働きがいのある快適な職場環境の形成を企業活動の基本として、日々の活動に取り組んでいます。

実際の活動は、「全社安全衛生会議」において審議・決定された、防災・安全衛生中期計画並びに年度方針に基づき、事業所ごとに安全活動を推進しております。各事業所では、事業所長をトップとした「労働安全衛生委員会」のもとで、各職場の労働安全・衛生環境をチェックし、そこで改善すべき報告があった場合は、事業所ごとの対応とともに「全社安全衛生会議」に報告され、検証とさらなる安全の徹底が実施されます。2007年度には、対象となる全事業所(7事業所)が、労働安全衛生マネジメントシステム(OHMS)の認証を取得しました。現在、本質安全の実現の為、システムの柱となるリスクアセスメントを鋭意推進し、災害ポテンシャルの撲滅に向けて、従業員全員参加の活動を続けております。

メンタルヘルスケア

ストレス社会といわれる現代では、体の健康と同時に心が健康であり続けることが極めて大事なことで認識されています。ルネサスにおいても、メンタルヘルス対策を関係会社も含めた全事業所において実施しています。

「健康管理センター」にて産業医や契約カウンセラーの診断・カウンセリングが、誰でも気軽に受けられるように相談環境を整えたほか、各研修プログラムにメンタルヘルスの研修時間を十分に盛り込むなど、社員が「健康で、かつ明るく、楽しく働ける会社」を目指しています。

また、労働環境の違いからメンタル面での負荷が大きいと考えられる海外出向の社員に対して、出向中のメンタル相談窓口を設置し、帰国時に健康診断を実施し、メンタルヘルスのチェックも行っています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[イントロダクション](#)
[ルネサスのCSR](#)
[法令遵守を超えて](#)
[個人の尊重に向けて](#)

人が育つ会社となる
ために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理

**福利厚生と
次世代育成支援**

[環境への取り組み](#)
[ステークホルダーとの
かかわり](#)

福利厚生と次世代育成支援

[個人の尊重に向けて](#)

福利厚生制度は、「多様な選択肢と公平性の確保」「適正な受益者負担と自助努力の支援」という基本的な考え方のもと、時代の流れとともに変化する社員のニーズやライフスタイルを的確に捉え、社員一人ひとりの安心と勤労意欲向上に向けた福利厚生制度を目指しています。仕事と家庭の両立をサポートする次世代育成の支援制度は、妊娠・出産・育児・教育の各段階で活用できる複数の制度を整備し、また支援形態も時短勤務、休暇、休職、退職後の再雇用など社員のライフワークに合わせて選べるよう配慮しています。中でも「サポート休暇」は、配偶者の不妊治療や子供の入学式等の行事についても休暇の対象としたルネサス独自の制度です。また、サポート休暇とともに男性の仕事と家庭の両立を支援する制度として「配偶者出産休暇制度」も導入しております。

今後は、各種制度の整備のみにとどまらず積極的な活用を呼びかけ、利用実績の向上にも取り組んでまいります。

■ 仕事と家庭の両立を支援する福利厚生制度とその利用実績

制度名	内容	利用実績
出産休暇	原則出産前後それぞれ8週間以内	2008年度 取得者数33名
育児休職	原則子が満1歳に達する日以後の3月31日まで	2008年度 休職開始者数34名
育児短時間勤務	最短で6時間就業まで時短可能	2008年度 時短勤務開始者数26名

サポート休暇制度

サポート休暇制度は、ケガや病気の治療、配偶者の不妊治療、人間ドック等の健康診断、ボランティア活動、入学式や授業参観等子供の養育に関連する行事への参加など様々な休暇ニーズに対して、フレキシブルに活用できる休暇制度です。社員自らの健康管理や社会貢献、仕事と家庭の両立などを幅広く支援するルネサス独自の福利厚生制度として2006年8月に創設されました。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

環境への取り組み →

- ISO14001認証
- グリーン調達
- 各事業所の取り組み
- 環境ビジョン
- 環境レポート
- CSRへの取り組み

 **環境への取り組み**
environmental activities

ルネサステクノロジは、全ての事業活動および社員行動を通じ環境の保全と向上に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献しています。

当社が取り組む環境保全活動はこちらからご覧頂けます。

▶ 環境レポート

当社の2008年度環境活動実績と2009年度目標をまとめた「環境レポート2009」を公開しています。



▶ ISO14001 認証

ルネサスグループの各工場(事業所)におけるISO14001認証取得情報を掲載しています。

▶ グリーン調達

お取引先様に対して、グリーン調達活動を推進するためのページです。

▶ 各事業所の取り組み

当社の事業所におきまして、独自に公開している情報を掲載しています。

▶ 環境ビジョン

当社の環境基本理念、環境行動指針を掲載しています。

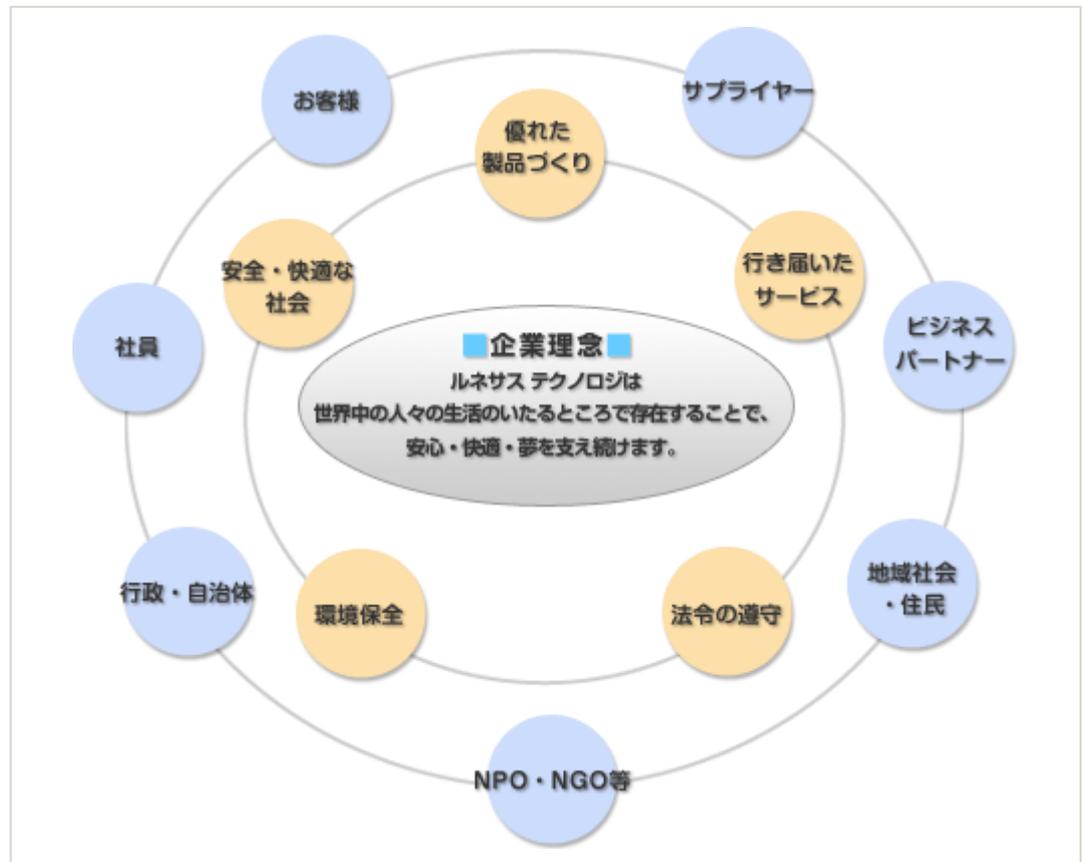
- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境への取り組み](#)
- [ステークホルダーとのかかわり](#) ➔
- [暮らしやすい社会のために](#)
- [ともに明日へ向かって](#)

ステークホルダーとのかかわり

RENESAS CSR REPORT 2009

ルネサスは、様々なステークホルダーに支えられて事業活動を行っています。社会の一員としてステークホルダーとどのようにコミュニケーションしていくかは最優先の経営課題です。多様な価値観の尊重、法令など社会的ルールの遵守、社会的使命への積極的な取り組み、これらのいずれがおろそかになっても社会とのスムーズなコミュニケーションは困難になります。

あらゆるステークホルダーと理解しあい、スムーズなコミュニケーションを図っていくことで、ルネサスが社会から信頼される企業であり続け、持続可能な社会に貢献できるよう真摯に取り組んでまいります。



暮らしやすい社会のために

社会の一員として、地域社会に貢献するルネサスの姿をご紹介します。

ともに明日へ向かって

ステークホルダーと協働、連携して明日を目指すルネサスの活動をご覧ください。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり /
暮らしやすい社会のために

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

[イントロダクション](#)[ルネサスのCSR](#)[法令遵守を超えて](#)[個人の尊重に向けて](#)[環境への取り組み](#)[ステークホルダーとの
かかわり](#)[暮らしやすい社会の
ために](#)[半導体製品・
サービスを通じた貢献](#)[次世代人材育成
支援活動](#)[『モノづくり』教育支援](#)[地域社会との交流](#)[地域防災活動への
参加](#)[ボランティア活動](#)[海外拠点の
社会貢献活動](#)[その他の活動](#)[ともに明日へ向かって](#)

ステークホルダーとのかかわり 暮らしやすい社会のために

RENEASAS CSR REPORT 2009

社会の一員として、地域社会に貢献するルネサスの姿がここに 있습니다。

半導体製品・サービスを通じた貢献

ルネサスは、半導体製品やサービスの提供をすることにより、社会の様々な分野に貢献できることを喜びとしています。

次世代人材育成支援活動

ルネサスでは、これからの日本と社会を担う若い力のために、教育プログラムへの参加、イベントの協賛などさまざまな支援活動を行っています。

『モノづくり』教育支援 - マイコンカーラリーへの協賛、支援 -

ルネサスは、全国工業高等学校長協会の趣旨に共鳴し、ジャパンマイコンカーラリーの第1回大会からマイコンボードの提供、大会用機材の貸与、技術講習会での技術指導などの協賛・支援を行ってきました。

地域社会との交流

独自の工夫による地域イベントを企画・開催。また、スポーツを通じた地域の方々とのふれあいにも積極的です。

地域防災活動への参加

ルネサスでは、自分たちの職場は自分たちで守ると同時に、地域の皆様の防災への取り組みにも積極的に参画したいと考え、社員による自衛消防隊を組織し、防災活動に取り組んでいます。

ボランティア活動

地域の清掃活動をはじめ、介護施設、福祉施設への慰問、環境を守るための植樹活動など、多彩なボランティア活動を展開しています。

海外拠点の社会貢献活動

ルネサスの海外20社のグループ会社では、それぞれ独自の社会貢献活動に取り組んでいます。

その他の活動

ルネサスグループによるその他の地域貢献活動についてご紹介します。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
半導体製品・サービスを通じた貢献

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとの かかわり

暮らしやすい社会の
ために

半導体製品・ サービスを通じた貢献

次世代人材育成
支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への
参加

ボランティア活動

海外拠点の
社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

半導体製品・サービスを通じた社会貢献

暮らしやすい社会のために

ルネサスは、半導体とその周辺製品および関連サービスの提供を通じて、産業の発展と豊かな社会生活を支えています。マイコンシェアの世界トップメーカーとして、新たに開発した新CPU「RXファミリ」を柱に、今後もデジタル民生・産業・自動車など、幅広い分野の機器の更なる高性能化、低消費電力化に貢献します。

CSRでは、第一に企業が社会の一員として、法令及びルールの遵守、社会通念への配慮が求められます。ルネサスでは、地域社会貢献活動の重要性を認識するとともに、事業に基づいた社会貢献が極めて重要であり、強く社会から求められていると考えます。そこで、半導体メーカーとしての役割を通じて社会に貢献しうることを日々模索しています。

人々の生活のいたるところで...

ルネサスは、企業理念の「ルネサステクノロジは、世界中の人々の生活のいたるところで存在することで、安心・快適・夢を支え続けます」とあるように、皆さまが過ごす日々の生活の様々なシーンでルネサスの製品が活躍しています。

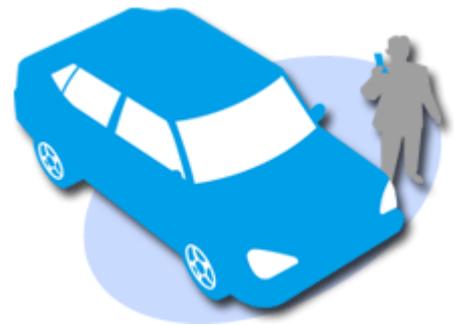
ユビキタス社会の実現へ

● 快適な家庭生活で

- ・各種家電製品のマイコン制御
- ・ホームネットワークシステム
- ・フラットパネルディスプレイ
- ・ポータブルDVDプレーヤー
- ・デジタルムービー
- ・デジタルカメラ
- ・ポータブルオーディオ
- ・携帯電話

● 自動車の安全に

- ・ハイブリッドカー
- ・カーナビゲーション
- ・エンジン制御
- ・ABS制御など



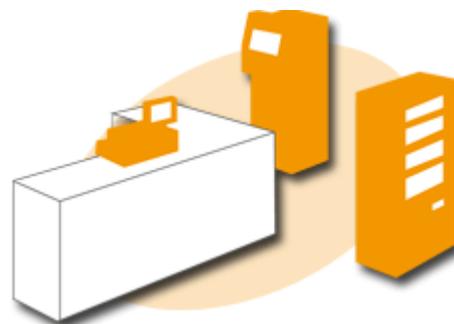


● **ビジネスの効率化に**

- ・ノートPC
- ・ストレージ
- ・PDA
- ・CIS
- ・複合プリンタ

● **暮らしやすい街づくりに**

- ・自動販売機・券売機
- ・ATM・CD
- ・POS端末



[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために / 次世代人材育成支援活動

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとのかかわり

暮らしやすい社会のために

半導体製品・サービスを通じた貢献

次世代人材育成支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への参加

ボランティア活動

海外拠点の社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

次世代人材育成支援活動

暮らしやすい社会のために

ルネサスでは、これからの日本と社会を担う若い力のために、教育プログラムへの参加、イベントの協賛などさまざまな支援活動を行っています。その中のいくつかをここでご紹介します。

ハイテック・ユニバーシティin滋賀

ルネサスは、2009年3月、SEMI(マイクロエレクトロニクス製造装置・材料の国際工業会)が主催した次世代育成プログラム「ハイテック・ユニバーシティin滋賀」に協賛いたしました。「ハイテック・ユニバーシティ」は、高校生を対象に科学・数学の面白さを、実習を交えながら教え、半導体事業の重要性を伝える世界的な教育プログラムです。日本では3回目の開催となり、滋賀県の県立高校に通う31名(男子24名、女子7名)が参加しました。

プログラムの中でルネサスの社員2名が、講師として、暮らしの中で活躍する半導体の紹介やエンジニアや開発という仕事とは何かについて講義を行いました。

このイベントを契機として、理系への興味を深め、将来の半導体業界を担う技術者となってもらえることを願っています。

■ 主な参加者のコメント

- ・最初は難しいだろうと思っていた半導体について、身近な話をしながら教えてくれたのでとても判り易かった。今まで知らなかった世界が見えた。
- ・半導体は身の回りのさまざまなものに使われていて、暮らしの中でどのような役割を果たしているかわかった
- ・講師の先生の生き方に魅かれた。尊敬する点が多かったし、国際的な視野、国のイメージの違いなどが知れてよかった。
- ・語学や資格など、これからも勉強しようと思われている。今の自分に満足しないで成長しようとしているのはすごいと思った。
- ・実体験をもとに話してくれて、いろんな経験をしているのだと思った。グローバルを感じた。

日経エデュケーションチャレンジ2008

「日経エデュケーションチャレンジ」は、日本経済新聞社が主催している高校生のための夏休み・参加型社会体験教室です。半導体のみでなく、金融や、医薬品、食品などさまざまな分野の企業が協賛し、それぞれ第一線で働く社員を講師に、生きた経済のあり方や働くことの意義を学べる場です。

ルネサスは、エレクトロニクス分野の企業として2006年度よりこの「日経エデュケーションチャレンジ」をお手伝いしています。2008年度は、海外営業部門の社員が106名の高校生に「小さな半導体を通して見える世界～大きな情熱とグローバルを感じていますか?～」をテーマとして講義を行いました。



営業本部 戦略営業推進統括部
キム ミンジョン



講義後は、参加者

に課題を提出してもらい、その中から優秀作品に選ばれた受賞者は海外研修ツアーに参加するなど、普段の生活では体験できないさまざまなチャンスを高校生の皆さんに提供しています。

■ ルネサステクノロジの講義を受けた参加者の主なコメント

- ・努力は必ず報われるということを再度認識した。
- ・小さなきっかけが大きなものになるということを知り、一つ一つのことの重要性を深く考えさせられた。
- ・半導体が身近なものに色々使われていることがわかった。
- ・グローバル化する世界を感じられた。

ルネサスでは、未来の主役である子どもたちが自分の将来を真剣に考え、社会に明るい希望を抱けるよう、これからも同様の取り組みを継続していきます。

大学における講座の開設及び支援

ルネサスは、海外大学への支援も行っています。ベトナム、ホーチミン工科大学において、ベトナム政府と共同でLSI設計ラボを創設し、装置やプログラミング用の教材等を提供してきました。学生達は教材を通して実際のプログラミング技術に直接触れることができます。ルネサスは今後も国内/外を問わず、次代を担うエンジニアの育成に貢献していきます。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために / 『モノづくり』教育支援

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

- イントロダクション
- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
- 環境への取り組み
- ステークホルダーとのかかわり
- 暮らしやすい社会のために
- 半導体製品・サービスを通じた貢献
- 次世代人材育成支援活動
- 『モノづくり』教育支援 →
- 地域社会との交流
- 地域防災活動への参加
- ボランティア活動
- 海外拠点の社会貢献活動
- その他の活動
- ともに明日へ向かって

マイコンカーラリーへの協賛、支援 —モノづくり、心づくり、人づくり—

暮らしやすい社会のために

マイコンカーラリーとは、大会実行委員会支給の承認マイコンボードを搭載し、独自に製作、プログラミングした手作りのマイコンカーでタイムを競う全国規模の大会です。高校生の部と一般の部に分かれて競われ、特に高校生の部は、北海道および全国工業高等学校長協会の主催のもと、「モノづくり、心づくり、人づくり」をキャッチフレーズに、高校生が最先端の半導体技術に触れる機会を提供する教育的な大会として開催されています。



高校生の部のレースの様子



ルネサスは、1996年の第1回大会から参加者が使用するマイコンボードとモータの提供、コースやタイム測定ゲートなどの大会用機材の貸与、および、技術講習会の実施など14年にわたって協賛・支援を行ってきました。

子ども達が素直に興味を持てる教育機会の提供を目指して

子ども達を育てる教育的な大会を志すマイコンカーラリーは、特に「自発的に学ぶ姿勢を育む」場とするため、技術者を目指す子供たちが理屈めきで興味を示す「カーレース」の形態をとっています。「遊び心」を科学への興味に昇華させて、楽しみながら学べる大会運営が行われています。



参加生徒による会場の除雪作業

また、大会運営そのものも「学びの機会」として、生徒、教師、保護者による手作りで行われます。さらに科学技術に興味を持つ子ども達の裾野を広げるため、2002年から小中学生を対象とした「ミニマイコンカー製作教室」も開催し、2008年度は全国37会場で開催されています。



大会前に入念に点検をする参加者

ここではマイコンカーラリーに参加している高校生が小中学生への指導役を担っています。

ミニマイコンカーは、マイコンを中心として、部品を組み合わせただけで簡単に組み立てられます。ルネサスは、「ミニマイコンカー製作教室」へのミニマイコンカーキットの提供、コースやタイム測定ゲートなどの大会用機材の貸与等の協賛・支援を行っています。

2009年5月には、社団法人全国工業高等学校長協会より、ルネサスグループの長年に亘る支援が工業教育の普及・振興に大きく貢献したとして感謝状が授与されました。



感謝状贈呈式の様子

ものづくりの楽しさと日本の技術力を次世代へと伝えていくために

昨今では、若者の理科離れが叫ばれ、少子化に伴う学区調整

などもあり次世代の技術者を育てる工業高校の数も減少しています。その中でマイコンカーラリーは、会を重ねるごとに参加者が増え2009年1月の第14回大会で延べ参加台数3万台を達成しました。

ルネサスは、このマイコンカーラリーをこれからも積極的にサポートしていくことで未来を担う優秀な技術者の育成を応援していきます。



第14回大会の表彰式の様子

グローバルな企業の責任として、海外でも『ものづくり』と『技術者の育成』を支援

日本国内における『マイコンカーラリー』を手本にベトナム、中国でも大会が開催されておりルネサスは協賛しています。

ベトナムでは、2006年からホーチミン自然科学大学(HCMUS)への教育支援として、「HCMUS-RENASAS Micom Car Rally」を協賛しています。2008年にはハノイ科学大学でも大会が開催されました。ルネサスは運営のサポート、ボードの提供等を行っています。

中国の北京でも、2007年から中国教育部主催の「全国大学生 IT&AT技能大会」の一競技として「中国ルネサスマイコンカーラリー大会」が開催されています。中国全土の大学生が参加し、成績優秀者には、政府公認のIT技能認定書が授与されます。

※ マイコンカーラリーに関する詳細につきましては、[こちら](#)をご参照願います。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
地域社会との交流

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ **ステークホルダーとのかかわり**

暮らしやすい社会のために

半導体製品・
サービスを通じた貢献

次世代人材育成
支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流 ➔

地域防災活動への
参加

ボランティア活動

海外拠点の
社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

地域社会との交流

暮らしやすい社会のために

ルネサスでは、従来から事業所ごとにそれぞれの地域社会との様々な交流を実施してきました。近年では地域のイベントに参加するなどの協力のみでなく、「スプリングフェスタ」「夏祭り」「ソフトボールフェスタ」等、ルネサス主催の独自イベントを企画・開催し、地域の皆様からもご好評をいただいています。また、地域のイベント開催時に、来場者のために工場の駐車場を開放するなどしています。

ルネサスの特長として、スポーツを通じての地域貢献にも力を入れています。「ルネサステクノロジ高崎事業所女子ソフトボール部」による地元の学生や市民の皆様を対象にしたソフトボール教室、甲府事業所におけるバスケットボールイベントへの支援、その他各種のスポーツイベントを実施しています。ほかにもルネサス所有の体育館やグラウンドを一般開放するなど地域のスポーツ振興をサポートしています。



俣武多(ねぶた)、出陣！
 (ルネサス北日本セミコンダクタ 津軽工場)



大鍋芋煮振る舞い。
 (ルネサス北日本セミコンダクタ 米沢工場)



イベントに協力して駐車場を開放。
 (ルネサス テクノロジ高知事業所)



ソフトボール教室。
 (ルネサス テクノロジ高崎事業所)

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために / 地域防災活動への参加

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとのかかわり

暮らしやすい社会のために

半導体製品・サービスを通じた貢献

次世代人材育成支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への参加

ボランティア活動

海外拠点の社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

安定した事業継続と地域の安全を守る活動

暮らしやすい社会のために

地震や水害・火災等の災害は、時に私たちの想像を超えた被害をもたらします。こうした災害発生時にも安定的に事業を継続し、社会に必要なものを届け、経済活動を維持することが「企業の社会的責任」としてますます求められています。ルネサス武蔵事業所では、「自分たちの職場は自分たちで守る」という基本理念のもと、社員による「ルネサス武蔵自衛消防隊」を組織し、結成から約50年間にわたって継続的な防災活動に取り組んでいます。この自衛消防隊は、ルネサスの敷地内の災害のみでなく、地域全体の安全・防災に貢献するため近隣の消防署の出動要請に応じ、周辺で発生した災害への出動も行います。

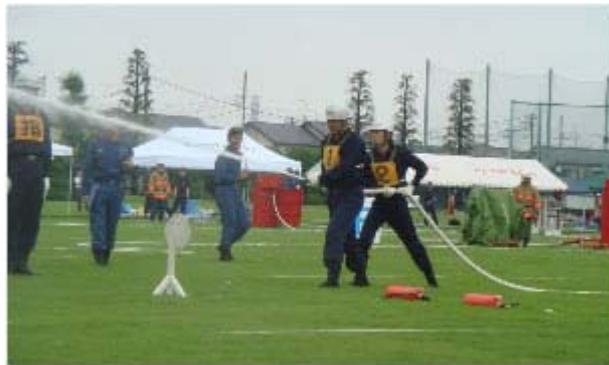


月に2回実施される定期訓練の様子
(武蔵事業所)

小平消防署主催の「自衛消防訓練審査会」で連覇を達成

ルネサス武蔵自衛消防隊は、近隣自治体や消防署が主催する合同防災訓練にも積極的に参加しています。

2009年6月24日に開催された小平消防署主催の「第31回自衛消防訓練審査会」には、選手3人と指導役で構成する特訓班を組織して男子隊の部に出場。競技は、災害発生時の対応として、119番通報・避難誘導・消火器操作・屋内消火栓操作などの消火操法を、正しく安全により短時間に行うというもので、市内他企業をはじめ計11チームで競い合いました。ルネサス武蔵自衛消防隊は、日頃から培った防火・防災精神を基本として「安全」「確実」「迅速」を心がけ、規律正しくかつ気迫溢れる操法で、昨年に続き優勝を勝ち取り、連覇を達成しました。



2009年度、小平市「第31回 自衛消防訓練審査会」で放水を実演する消防隊員



2008年度に続き優勝し、見事連覇を達成した特訓班

近隣企業と相互応援協定を締結

2009年8月26日、ルネサス武蔵事業所と隣接企業であるサミット株式会社様およびコーナン商事株式会社様との間で、「災害活動に関する相互応援協定」を締結しました。工場、オフィス、スーパーストア、ホームセンターなど、3社の事業で想定されるあらゆる災害に対応した相互の協力体制を確認し合同訓練を実施しました。



2009年8月26日の災害相互応援締結式



合同訓練

日常的な活動による社員の防災意識の向上

消防隊の活動は、それを日常的に目にする一般社員の防災意識向上にもつながっています。防災意識を事業所内に幅広く根付かせるため、消防隊のメンバーは所属部署が偏らないよう、様々な部署から選抜された社員で成り立っています。また消防隊の訓練や防災点検等の活動は、年間活動計画に沿って日常のかつ継続的に実施され、社内報等を通じて一般社員へも広く告知されています。

■消防隊活動内容

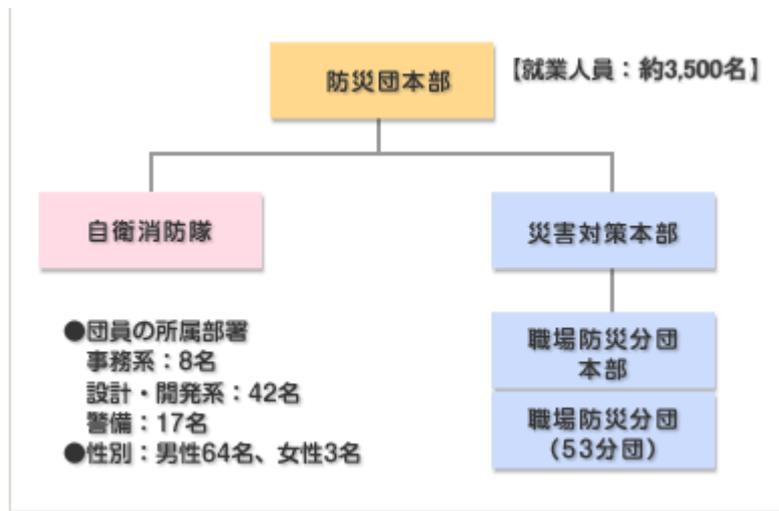
- ・定期訓練(月に2回実施)
- ・総合訓練(年に4回実施)
- ・非常呼集訓練(事前通達なしで年2回実施)
- ・合宿訓練(年1回実施)
- ・構内の消防機材点検(毎日実施)
- ・出初式(年1回1月に実施)
- ・小平市総合防災訓練(震災消防訓練)への参加(年1回)
- ・救命技能認定(心肺蘇生、AED操作技術)取得
- 東京消防庁災害時支援ボランティアの登録



2009年1月、武蔵事業所で実施された出初式の様子

■武蔵事業所防災団 組織図





[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために / **ボランティア活動**

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ **ステークホルダーとのかかわり**

暮らしやすい社会のために

半導体製品・サービスを通じた貢献

次世代人材育成支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への参加

ボランティア活動 →

海外拠点の社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

ボランティア活動

暮らしやすい社会のために

ボランティア活動は、企業として地域社会に貢献する活動と、個人のボランティアへの参加を支援する活動の二つの側面から取り組んでいます。

地域の公園、河川敷、事業所周辺の清掃活動は、地域の一員である企業市民として毎年着実に取り組んでいます。また、全国に事業所やグループ会社を持つルネサスでは、地域イベントへの協力・支援、介護・福祉施設の慰問、車椅子の修理や清掃などのボランティア、公園の桜の手入れといった地域に密着した多彩な活動を展開しています。



クリーンアップ活動。
(ルネサス テクノロジ武蔵事業所)



勝田マラソン大会でのお手伝い。
(ルネサス テクノロジ那珂事業所)



ウォーキング大会でのお手伝い。
(ルネサス テクノロジ西条事業所)



公園の桜の手入れ。
(ルネサス テクノロジ北伊丹事業所)

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために / **海外拠点の社会貢献活動**

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境への取り組み](#)
- [ステークホルダーとのかかわり](#)

暮らしやすい社会のために

半導体製品・サービスを通じた貢献

次世代人材育成支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への参加

ボランティア活動

海外拠点の社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

海外拠点での社会貢献活動

暮らしやすい社会のために

ルネサスには、海外に20社のグループ会社があり、それぞれ独自の社会貢献活動に取り組んでいます。2008年度は、オフィスの紙やコピー機のトナーのリサイクルや不在時の消灯、自家用車の利用を控えバスなどの公共交通機関の利用を促すなど、省エネへの取り組み、河川の清掃などの環境保全活動、ガンと戦う団体への寄付、社員が地元の学校に講師として出向くなど、会社及び従業員が積極的に取り組みました。今後も様々な活動をととして、ルネサスグループ全体の社会貢献活動の輪を拡げてまいります。



植林活動。
(製造会社 ルネサス テクノロジ 北京)



植林活動。
(販売会社 ルネサス テクノロジ 上海)



洪水被災者への寄付と慰問。
(設計会社 ルネサス デザイン ベトナム)



チャリティマラソンへの参加。
(販売会社 ルネサス テクノロジ シンガポール)



地元小学生への環境講座。
(製造会社 ルネサス セミコンダクタ マレーシア)



お盆フェスティバル。
(販売会社 ルネサス テクノロジ アメリカ)

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
その他の活動

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

[イントロダクション](#)[ルネサスのCSR](#)[法令遵守を超えて](#)[個人の尊重に向けて](#)[環境への取り組み](#)[ステークホルダーとのかかわり](#)[暮らしやすい社会のために](#)[半導体製品・サービスを通じた貢献](#)[次世代人材育成支援活動](#)[『モノづくり』教育支援](#)[地域社会との交流](#)[地域防災活動への参加](#)[ボランティア活動](#)[海外拠点の社会貢献活動](#)[その他の活動](#)[ともに明日へ向かって](#)

その他の活動

[暮らしやすい社会のために](#)

ルネサスグループでは、世界各国や日本全国で起きている地震等の災害に対する義援金の協力を積極的に行っています。また、武蔵事業所において敷地の一部を公園として市に提供し、隣接道路の渋滞緩和策として路線バスを会社敷地内のロータリーに引き込むなど、地域の人々に役立つ様々な活動を実施しています。

2008年度ルネサスグループ地域貢献活動

件数	内容	件数
イベント関連	ルネサス主催、または日立製作所や三菱電機との共催によるイベントの開催や、地域の祭りや展示会などへの人員派遣、寄付、運営への参加など	64件
寄付	募金、使用済切手およびプリペイドカードの寄付	85件
ボランティア	清掃活動、病院・介護施設などへの慰問	63件
スポーツ交流	シンボルスポーツ、専門部などによる技術指導、スポーツ大会開催など	32件
施設開放	体育館、グラウンド、テニスコートなどを地域住民、団体へ開放や工場見学の受入	36件
講座開設・講師派遣	群馬大学、茨城大学に講座開設、官公庁主催行事への講師、試験官の派遣	13件
交通安全	地域の交通安全運動への人員の派遣、参加	4件
その他	社外団体活動、インターンシップ、各拠点での献血協力など	40件

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり /
ともに明日へ向かって

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ [イントロダクション](#)

■ [ルネサスのCSR](#)

■ [法令遵守を超えて](#)

■ [個人の尊重に向けて](#)

■ [環境への取り組み](#)

■ [ステークホルダーとのかかわり](#)

■ [暮らしやすい社会のために](#)

■ [ともに明日へ向かって](#) →

■ [お客様満足のために](#)

■ [取引先様コメント](#)

■ [サプライチェーンを](#)

■ [通じたCSR活動](#)

ステークホルダーとのかかわり ともに明日へ向かって

RENESAS CSR REPORT 2009

ステークホルダーと協働、連携して明日を目指すルネサスの活動をご覧ください。

お客様満足のために

当社の製品をご購入いただいている企業の皆様の声に耳を傾け、心からお客様に満足いただける製品を開発していくためにさまざまな取り組みを実施しています。

取引先様コメント

SCM(サプライチェーン・マネジメント)パートナーであるルネサスの取引先様からのコメントをご紹介します。

サプライチェーンを通じたCSR推進

ルネサスでは、社会貢献、環境保全、顧客満足の観点からサプライチェーンを通じた適切な調達を実施しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / ともに明日へ向かって / お客様満足のために

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

イントロダクション

ルネサスのCSR

法令遵守を超えて

個人の尊重に向けて

環境への取り組み

ステークホルダーとのかかわり

暮らしやすい社会のために

ともに明日へ向かって

お客様満足のために

取引先様コメント

サプライチェーンを通じたCSR活動

お客様満足のために

ともに明日へ向かって

ルネサスでは、当社の製品をご購入いただいている企業の皆様の声に耳を傾け、心からお客様に満足いただける製品を開発していくためにさまざまな取り組みを実施しています。ご提供していく製品の品質に責任をもって事業を推進し、プロダクトアウトではなくマーケットインの発想を常に心がけ、お客様対応力の強化を図っています。

「お客様満足度調査」の実施

多くのお客様のご要望を把握する手段として、ルネサスでは毎年「お客様満足度調査」を実施しています。この満足度調査は、ルネサス製品をご購入いただいた企業のご担当者にサービス対応、品質などの種々の項目について評価していただくもので、2008年度も国内外のお客様である企業百数十社にアンケートを配布し、忌憚のないご意見を伺いました。

2004年度の調査開始当初から80%以上という高い回答率でアンケートにご協力いただいておりますが、2007年度以降も90%を超えるなど、お客様側の認知度が向上してきたとともに、当社社員の意識向上にも繋がっており、この満足度調査が年を追うごとに根付いてきたと考えています。

調査の集計結果は、年2回社内で開催される「品質マネジメントレビュー会議」、CS向上委員会において報告することで情報を社内でも共有し、お客様へのサービス向上施策、およびトップの意思決定やマネジメント、などに反映させています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / ともに明日へ向かって /
取引先様コメント

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への取り組み

■ ステークホルダーとのかかわり

暮らしやすい社会のために

ともに明日へ向かって

お客様満足のために

取引先様コメント

サプライチェーンを通じたCSR活動

取引先様コメント

ともに明日へ向かって

新しい価値の実現化をサポートしてくれる、
ルネサステクノロジの技術に
期待しています。

カシオ計算機株式会社
執行役員
生産資材統轄部長



大埜 修 様

■ ルネサス製品のどのようなところを評価されて、御社の製品に採用されているのでしょうか？

第一に、品質や技術への不安がないことです。現場技術者からは「処理スピードの向上にもう少し頑張ってもらいたい」という声が出ることもありますが、他社製品に対して品質や技術の面で劣ると感じることはまずないと思います。

さらに供給面の融通については、とてもよく対応していただいています。ルネサスさんからLSIをご提供いただいているカシオ製品は、需要に変化が大きく、供給していただきたいLSIのモデルも短期間で変わります。やはりメーカーとしては、「売れるものはもう少し欲しいし、売れないものは量を減らして」という話になりますので、そこを酌みとっていただいて、多少のブレには対応いただけるルネサスさんは、非常にお付き合いしやすいと感じています。

■ 特に印象に残っているお取引についてお聞かせください。

デジタルカメラの「カードサイズEXILIM」でしょうか。2002年の6月に、私たちは、日常の生活シーンの中で常に携帯できる「ウェアラブル・カードカメラ」という新概念に基づいて、発売当時世界最薄となった「EX-S1」を発売しました。これは、ルネサスさんが高い実装技術で非常にコンパクトなSiP(システム・イン・パッケージ)を開発されてご提供いただいたおかげで、11.3ミリという、当時としては思い切った薄型化が実現できたといっても過言ではありません。あの薄さでカメラとして成り立っているというのは、私たち自身にもある種の感動がありました。

カシオには「0→1」の発想という、既成概念にとらわれず新しい価値を生み出すことにチャレンジする社風があります。その私たちにとって半導体、LSIというのは「打出の小槌」といいますが、これまでに無かったような半導体のパワーを得ることで、私たちの考える新しい価値を形にし、製品として世に出せるという側面があり、それは非常に大きいと思います。

■ 今後、ルネサスに期待されることをお聞かせください。

私たちの仕事では、「他社の製品より性能が高い」ということ自体が最大の営業であると思います。良い製品というのは製品自ら「私を使ってください」という、技術者の心に響く主張を持っているものです。ルネサスさんには、ぜひそういう主張の聞こえる価値あるモノを創り続けてほしいですね。また、カシオは「商品を生み出すのではなく、新たな市場を生み出す」と言う思想で商品開発を行っています。その為、半導体へも大変難しい要求をしますが、怯まず、チャレンジ精神でソリューションを提案して頂きたいと思っています。

品質・性能面では、現場の技術陣からは、回路の処理スピード向上に対する期待が高いようです。そしてなにより環境にやさしい製品であること。当社製品の省エネ性能を大きく向上させるためには、ルネサスさんの半導体制御テクノロジーが欠かせません。半導体自体の省エネよりも、それを組み込んだシステム全体の省エネを実現する技術開発をお願いしたいと思います。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[イントロダクション](#)[ルネサスのCSR](#)[法令遵守を超えて](#)[個人の尊重に向けて](#)[環境への取り組み](#)[ステークホルダーとのかかわり](#)[暮らしやすい社会のために](#)[ともに明日へ向かって](#)[お客様満足のために](#)[取引先様コメント](#)[サプライチェーンを通じたCSR活動](#)

サプライチェーンを通じたCSR推進

[ともに明日へ向かって](#)

ルネサスでは、社会貢献、環境保全、顧客満足の見地からサプライチェーンを通じた適切な調達を実施しています。

具体的には、事前の説明や、取引開始の際に取り交わす契約書に盛り込まれた社会貢献に対する要望、環境保全に関する要望等をご理解いただいた上で、お取引をお願いしています。

さらに、日々のコミュニケーションに加え、ルネサスの調達方針をお取引先にご理解いただくための説明会を開催し、特に強調したい時事的な問題については、この説明会の場で改めて説明しています。

また、本社で定めた調達基準などを各拠点の調達部署や社内全般に浸透させるため、仕入れ担当のマナーミーティングを定期的で開催しています。

グリーン調達の考え方

製品に使用する原材料等の調達にあたっては、環境保全を積極的に推進しているサプライヤーの製品や環境負荷が少なく、有害物質を含まないものを優先的に購入するグリーン調達を実施しています。

ルネサスのお客様のご要望や国内外の各種規制を踏まえ、直接取引のあるサプライヤーに限らず、サプライヤーのさらに上流にいるサプライヤーを含め、サプライチェーン全体で当社グリーン調達の浸透を図っています。

サプライヤーへの支援体制

グリーン調達では、大手のサプライヤーが自己管理で要望事項を主体的に満たしているケースが多く見られる一方で、中小のサプライヤーについては、自社の自助努力だけでは期待される環境保全への対応に難航しているケースもあります。

そうしたサプライヤーへの支援のため、「外部刺激の提供」と「自主的取り組み支援」を活動の両輪として、中小サプライヤーを中心に定期的な訪問を実施しています。

当社担当者の訪問など各種のコミュニケーションの場を通じて、常に外部からグリーン調達対応への動機付けを行い、ルネサスの要望に対する取り組みを受け身ではなく、サプライヤー自身が意識を高め、ポジティブなグリーン調達に取り組めるような情報展開活動を推進しています。

SCM調達先へのCSR推進

ルネサスでは、自社のみならず、事業プロセスに参画するすべてのパートナー企業と一丸となって、サプライチェーン全体でのCSR活動に取組み、社会の諸要請に応えることが大変重要と考えています。

そこで、ルネサスのCSRに対する考え方を理解いただき、共通の視点に立って活動を推進していくため、今般、CSR推進ガイドブックを作成、パートナー企業各社に配布し、CSR意識の向上と積極的な推進活動をお願いしています。

また、パートナー企業に対し、社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 作成のチェックシートにもとづいたアンケート調査を実施しており、この結果を踏まえて、今後のサプライチェーン全体のCSR活動を進めてまいります。

[←前のページへ](#)